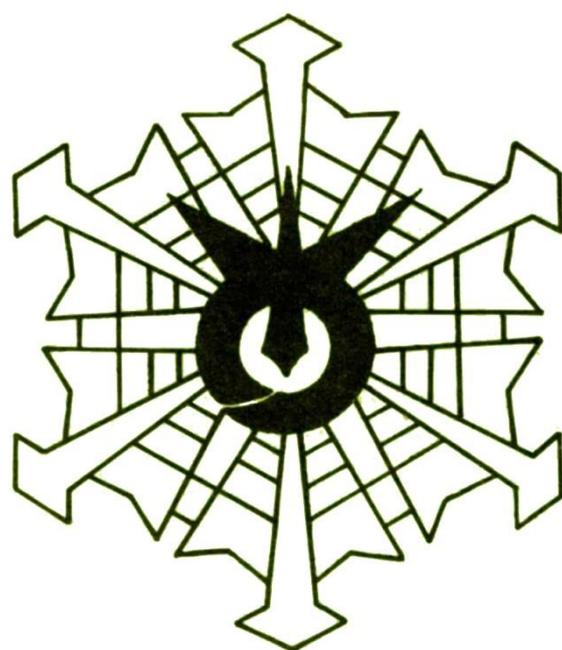


消防年報

令和4年版



(令和5年刊行)

安芸市消防本部

は し が き

- (1) この年報は、安芸市消防行政をひろく一般に紹介するとともに、将来の参考に資するため、令和4年中の本市消防の現勢及び業務の内容、火災状況等を集録編さんいたしました。
- (2) この統計中、火災統計、救急統計、警防活動状況は暦年（1月～12月）とし、その他の事項については、令和5年4月1日現在をもって集録しましたが、これによらないものについては、必要に応じ表右上に調査年月日を示しました。
- (3) この年報の世帯数人口等は安芸市市民課の統計資料によるものであります。

目次

安芸市消防の沿革	1
----------	---

【総務編】

庶務

1 安芸市の位置	10
2 安芸市の市勢	10
3 消防職員消防者に対する比較	10
4 現有消防力に対する基準表(消防署)	10
5 安芸市消防の組織	11
6 事務分掌	12
7 消防庁舎等の現況	13

財政

1 財政状況(平成12年度～令和4年度)	14
2 令和3年度・令和4年度決算額	15

人事教養

1 職員定数及び配置状況	16
2 職員勤続年数状況	16
3 職員年齢別状況	17
4 職員研修終了状況	17
5 職員特殊技能資格取得状況	18
6 歴代消防長・署長	
(ア)歴代消防長	19
(イ)歴代消防署長	20

【警防編】

機材・水利

1 消防機器配置図	22
2 消防水利状況(防火水槽)	23
3 消防団現有配備・消防水利充足状況	25
4 消防署現有配備・消防通信設備状況	25
5 消防資機材	26

通信

1 警防 (通信 デジタル波)	27
(固定局 安芸市防災行政無線)	28
2 通信連絡系統表	30
3 サイレン遠隔制御装置 (安芸市防災行政無線・デジタル波)	31

【救急統計編】

1 月別出場状況表	33
2 時間別出場状況表	33
3 曜日別出場状況表	33
4 事故種別出場状況表	33
5 救急出場件数	35
6 搬送人員	35
7 年齢別・傷害程度別搬送人員	36
8 事故種別理由別搬送件数	36
9 救急隊員の行った応急処置件数	36
10 覚知別・傷害別件数	37
11 事故種別年齢区分別搬送人員	37

12	事故種別傷害程度別搬送人員	37
13	現場到着所用時間別出場件数	38
14	収容所要時間別搬送人員	38
15	事故種別医療機関別搬送人員	39
16	救急法指導実施状況	40

【予防編】

1	防火対象物数	42
2	建築同意事務処理状況	43
3	数量別危険物製造所等の数	44
4	危険物関係事務処理状況	45
5	火災予防条例に基づく各種届出状況	45
6	消防法第9条の3に基づく届出状況	45
7	消防手数料徴収状況(危険物)(煙火消費)	46
8	3年間の火災統計	47
9	3年間の地区別火災統計	47
10	3年間(令和2年・3年・4年)の月別火災件数 及び原因別火災件数調べ	48
11	原因別(内訳)火災状況	49
12	時刻別火災状況	50
13	曜日別火災状況	51
14	覚知別火災状況	51
15	月別火災状況	52
16	月別火災出動状況	52
17	業務別火災発生状況	53

【消防団編】

1	安芸市消防団機構	55
---	----------	----

2	消防団定数及び実員数	55
3	消防団在職年数	55
4	年齢別調べ	55
5	消防団編成表	56
6	消防機械車年齢別一覧表	56
7	機械器具配置状況	57
8	ポンプ車配置状況	57
9	指揮者、運搬車、防災活動車、小型ポンプ積載車 配置状況	57
10	小型ポンプ配置状況	57
11	消防団幹部名簿	58
12	歴代団長	58
13	年報酬(1人当)	59
14	出勤報酬	59
15	手当関係	59
16	安芸市消防団員表彰条例	60

安芸市消防の沿革

本市は昭和29年8月1日市町村合併促進法に基づき1町7村（安芸町・伊尾木村・川北村・土居村・井ノ口村・畑山村・東川村・赤野村）が合併した高知市以東に於ける市街地を形成する人口3万余名の田園都市として発足。

本市は昭和29年8月1日消防団結成と共に初代団長に野町紀稔之助氏が就任。分団数10ヶ分団（伊尾木分団・川北分団・東川分団・安芸分団・中央分団・土居分団・井ノ口分団・畑山分団・穴内分団・赤野分団）団員総数314名、消防ポンプ自動車5台、手引動力ポンプ4台、小型動力ポンプ1台、合計口数15口の消防力で発足した。

昭和30年	3月	7日	国家消防本部長より表彰竿頭綬を授与。
昭和31年	4月	7日	消防ポンプ自動車A2級購入、穴内分団へ配置。
昭和31年	4月	7日	消防ポンプ自動車A2級購入、井ノ口分団へ配置。
昭和31年	6月	5日	小型動力ポンプB2級購入、赤野分団へ配置。
昭和33年	8月	1日	消防団員定数条例改正（定員314名を282名）。
昭和34年	4月	7日	高知県知事より旗旌を授与。
昭和36年	2月	26日	消防ポンプ自動車A2級購入、中央分団へ配置。
昭和36年	7月	10日	小型動力ポンプB2級購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和36年	7月	11日	小型動力ポンプB2級購入、畑山分団へ配置。
昭和36年	12月	13日	消防ポンプ自動車購入、赤野分団へ配置。
昭和38年	3月	27日	搬送車購入、畑山分団へ配置。
昭和38年	8月	15日	消防指令車購入、消防本部へ配置。
昭和38年	12月	5日	消防用超短波無線機基地局及び車載用移動局1基購入。
昭和39年	8月	5日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団大井地区へ配置。
昭和39年	8月	5日	小型動力ポンプB2級購入、畑山分団上尾川地区へ配置。
昭和39年	8月	18日	小型動力ポンプB2級購入、畑山分団和田地区へ配置。
昭和40年	2月	2日	小型動力ポンプB2級購入、穴内分団へ配置。
昭和40年	4月	1日	政令107号により消防本部・消防署の設置の義務付け。
昭和40年	4月	26日	小型動力ポンプB2級購入、川北分団江川班へ配置。
昭和40年	9月	29日	消防ポンプ自動車購入、消防本部・消防署発足時に配置。
昭和41年	3月	1日	搬送車購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和41年	11月	4日	消防用超短波無線機移動用5W購入、消防署、消防ポンプ自動車に積載。
昭和42年	4月	1日	消防本部・消防署、職員17名で発足。 初代消防長に山崎初男氏（市長）就任。 本部次長兼署長に小松亦吾郎氏就任。
昭和42年	10月	15日	県知事より、表彰竿頭綬を授与。
昭和42年	10月	18日	小型動力ポンプB2級購入、井ノ口分団内原野地区へ配置。
昭和42年	12月	5日	消防庁舎新築工事着工。
昭和43年	3月	7日	消防庁長官より表彰旗授与。
昭和43年	6月	10日	消防庁舎新築工事完成。
昭和43年	7月	31日	初代消防団長野町紀稔之助氏退任。
昭和43年	8月	1日	2代目消防団長に畑山丈藏氏就任。

昭和43年	9月30日	小型動力ポンプB2級購入、赤野分団へ配置。
昭和44年	11月14日	消防ポンプ自動車A2級購入、消防本部へ配置。
昭和45年	9月1日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団へ配置。
昭和45年	12月20日	消防ポンプ自動車A2級購入、川北分団へ配置。
昭和46年	1月8日	救急車B級日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和46年	4月1日	救急業務開始。
昭和46年	4月1日	救急業務開始にともない、職員7名増員、定員24名。
昭和46年	11月8日	消防ポンプ自動車A1級、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和47年	3月10日	消防ポンプ自動車A2級購入、伊尾木分団へ配置。
昭和47年	7月7日	運搬車日産C240型式購入、消防本部へ配置。
昭和47年	9月12日	消防ポンプ自動車A2級購入、土居分団へ配置。
昭和47年	10月	職員1名退職。実員23名。
昭和47年	12月1日	職員1名採用。実員24名。
昭和48年	4月1日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団古井地区へ配置。
昭和48年	12月10日	消防ポンプ自動車A2級購入、穴内分団へ配置。
昭和49年	7月26日	小型動力ポンプB2級購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和49年	9月4日	初代消防長山崎初男氏（市長）退任。
昭和49年	9月5日	2代目消防長に岡村喜郎氏（市長）就任。
昭和49年	9月25日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、井ノ口分団へ配置。
昭和50年	3月31日	本部次長兼消防署長小松亦吾郎氏退任。実員23名。
昭和50年	4月1日	本部次長兼消防署長に伊藤嘉幸氏就任。 職員1名採用。実員24名。
昭和50年	12月24日	中央分団屯所完成。
昭和51年	3月31日	2代目消防長岡村喜郎氏（市長）退任。
昭和51年	4月1日	3代目消防長に伊藤嘉幸氏就任（本部次長・消防署長兼務）。
昭和51年	7月24日	小型動力ポンプB2級購入、丸石地区へ配置。
昭和51年	7月31日	2代目消防団長畑山文藏氏退任。
昭和51年	8月1日	3代目消防団長に岡村幸一氏就任。
昭和51年	12月3日	水槽付消防ポンプ自動車1-A型購入、消防本部へ配置。
昭和52年	1月10日	救急自動車2B型、日本自動車工業会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和53年	1月31日	サイレン遠隔制御装置設置（子局11ヶ所）。
昭和53年	3月11日	井ノ口分団屯所完成。
昭和53年	4月1日	職員3名採用、市役所へ1名出向。実員26名。
昭和53年	4月15日	川北分団車庫完成（川北公民館と併用）。
昭和53年	5月13日	消防指令車購入、消防本部へ配置。
昭和53年	11月26日	穴内分団屯所完成。
昭和54年	3月31日	専任消防長に伊藤嘉幸氏就任。
昭和54年	4月1日	本部次長兼消防署長に森澤民平氏就任。
昭和54年	4月1日	芸西村消防業務一部受託（予防・救急）にともない職員11名採用、市役所へ2名出向。実員35名。
昭和54年	7月7日	小型動力ポンプB2級購入、川北分団江川班へ配置。

昭和54年12月 1日	救急自動車2B型、日本自動車工業会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和54年12月12日	畑山分団屯所落成。
昭和54年12月27日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、赤野分団へ配置。
昭和55年 2月15日	救急指令装置を設置。
昭和55年 7月31日	3代目消防団長岡村幸一氏退任。
昭和55年 8月 1日	4代目消防団長に岡林重夫氏就任。
昭和55年 8月19日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団奈比賀地区へ配置。
昭和56年 2月10日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、中央分団へ配置。
昭和56年 7月27日	小型動力ポンプB2級購入、畑山分団和田地区へ配置。
昭和56年 9月30日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、畑山分団へ配置。
昭和56年11月 7日	畑山分団車庫増設。
昭和57年 1月29日	中央分団車庫増設。
昭和57年 3月25日	搬送車2台購入、中央分団・井ノ口分団へ配置。
昭和57年 4月 1日	職員1名採用、市役所へ1名出向。実員35名。
昭和57年 4月28日	高知県知事より表彰旗授与。
昭和57年 7月 6日	小型動力ポンプB3級購入、東川分団大井地区へ配置。
昭和57年10月10日	東川分団車庫完成。
昭和57年10月28日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、東川分団へ配置。
昭和58年 2月24日	赤野分団車庫増設。
昭和58年 2月28日	搬送車2台購入、赤野分団・土居分団へ配置。
昭和58年 4月 1日	職員1名採用、市役所へ1名出向。実員35名。
昭和58年 6月	職員1名退職。実員34名。
昭和58年 7月29日	小型動力ポンプB3級購入、畑山分団上尾川地区へ配置。
昭和58年 8月 8日	軽可搬消防ポンプ消防本部へ配置。
昭和59年 2月10日	穴内分団車庫増設。
昭和59年 2月20日	搬送車2台購入、穴内分団・川北分団へ配置。
昭和59年 2月22日	東川分団奈比賀地区格納庫完成。
昭和59年 3月31日	本部次長兼消防署長森澤民平氏退任。実員33名。
昭和59年 4月 1日	本部次長兼消防署長に島崎賀行氏就任（市役所より出向）。実員34名。
昭和59年 6月17日	小型動力ポンプB3級購入、井ノ口分団内原野地区へ配置。
昭和59年 9月28日	消防ポンプ自動車BD-1型、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和59年11月29日	救急自動車2B型、日本自動車工業会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和60年 2月28日	搬送車購入、安芸分団へ配置。
昭和60年 3月22日	安芸分団屯所完成。
昭和60年 3月31日	3代目消防長伊藤嘉幸氏退任。実員33名。
昭和60年 4月 1日	4代目消防長に山崎勲氏就任（市役所より出向）。実員34名。
昭和60年 6月	職員1名退職。実員33名。
昭和60年 8月27日	広報車、日本消防協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和61年 2月18日	伊尾木分団屯所完成。
昭和61年 3月 6日	搬送車購入、伊尾木分団へ配置。
昭和61年 4月 1日	職員2名採用。実員35名。

昭和61年10月9日	搬送車購入、畑山分団へ配置。
昭和62年3月26日	川北分団江川班屯所完成。
昭和62年3月31日	本部次長兼消防署長島崎賀行氏市役所へ。
昭和62年4月1日	仙頭齊氏本部次長に就任。 楠瀬要一氏消防署長に就任。 市役所より元消防職員1名補充。実員35名。
昭和62年11月11日	東川分団奈比賀地区消防車庫完成。
昭和62年11月11日	東川分団奈比賀地区に運搬車配置。
昭和63年3月5日	救急車2B型、日本損害保険協会より寄贈。
昭和63年3月25日	伊尾木分団下山班屯所完成。
昭和63年7月31日	4代目消防団長岡林重夫氏退任。
昭和63年8月1日	5代目消防団長に吉永秀昭氏就任。
昭和63年12月14日	搬送車2台購入、川北分団江川班・伊尾木分団下山班へ配置。
平成元年3月31日	土居分団屯所完成。
平成元年3月31日	サイレン遠隔制御装置子局下尾川へ設置。
平成元年9月	職員1名退職。実員34名。
平成2年3月31日	川北分団屯所完成。
平成2年4月1日	職員2名採用。市役所へ1名出向。実員35名。
平成2年11月20日	消防ポンプ自動車BD—I型購入、安芸分団へ配置。
平成3年3月29日	水槽付消防ポンプ自動車購入、消防本部へ配置。
平成3年4月1日	職員1名採用、実員36名。
平成3年11月13日	消防ポンプ自動車BD—I型購入、川北分団へ配置。
平成4年3月31日	4代目消防長山崎勲氏退任。実員35名。
平成4年4月1日	5代目消防長に仙頭齊氏就任。 本部次長兼消防署長に楠瀬要一氏就任。 消防職員2名採用、市役所へ1名出向。実員36名。
平成4年10月27日	消防ポンプ自動車BD—I型購入、伊尾木分団へ配置。
平成4年11月25日	小型動力ポンプB3級購入消防本部へ配置。
平成5年4月1日	職員2名採用、実員38名。
平成6年1月17日	消防ポンプ自動車BD—I型2台購入、土居分団・穴内分団へ配置。
平成6年3月7日	消防団緊急伝達システム装置（基地局1・子局17）設置。
平成6年3月28日	高規格救急車パラメディック及び資機材、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成6年3月31日	5代目消防長仙頭齊氏退任。 本部次長兼消防署長楠瀬要一氏退任。 職員1名退職。実員35名。
平成6年4月1日	6代目消防長に森田修一氏就任。（市役所より出向） 本部次長兼消防署長に横山壽美男氏就任。 消防職員2名増員、定員38名。
平成6年8月9日	畑山分団上尾川地区格納庫完成。
平成7年3月8日	消防団緊急伝達システム装置子局穴内へ設置。

平成 7年 4月 1日	職員2名採用、市役所へ1名出向、実員39名。
平成 7年 5月30日	予防広報車購入、消防本部へ配置。
平成 7年 7月21日	搬送車、石建守氏より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7年 7月21日	救急車2B型、高知県共済農業協同組合連合会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7年 8月 1日	消防ポンプ自動車CD—I型、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7年11月 1日	消防ポンプ自動車CD—I型2台購入、井ノ口分団・赤野分団へ配置。
平成 8年 2月 1日	高知県消防防災航空隊へ消防職員1名派遣。実員38名。
平成 8年 7月31日	5代目消防団長吉永秀昭氏退任。
平成 8年 8月 1日	6代目消防団長に五百藏溜氏就任。
平成 9年 2月 7日	中央分団屯所完成。
平成 9年 3月 6日	消防団緊急伝達システム装置（子局）大山岬へ設置。
平成 9年12月24日	消防ポンプ自動車CD—I型2台購入、畑山分団・中央分団へ配置。
平成10年 1月 7日	消防団緊急伝達システム装置（子局）津久茂町へ設置。
平成10年 3月 8日	東川分団屯所完成。
平成10年 6月24日	消防指揮車JA安芸市より寄贈、消防本部へ配置。
平成10年11月15日	消防ポンプ自動車CD—I型購入、東川分団へ配置。
平成10年12月 8日	穴内分団屯所完成。
平成11年 3月26日	消防団緊急伝達システム装置（子局）穴内南へ設置。
平成11年 4月 1日	高知県消防防災航空隊より消防職員1名戻り。実員39名。
平成11年12月24日	畑山分団屯所完成。
平成12年 3月 7日	消防団緊急伝達システム装置（子局）川北南へ設置。
平成12年 3月29日	小型ポンプ付積載車購入、伊尾木分団下山班へ配置。
平成12年 3月31日	6代目消防長森田修一氏市役所へ。実員38名。
平成12年 4月 1日	7代目消防長に横山壽美男氏就任。
	本部次長兼消防署長に小松精一氏就任。
	職員2名採用、事務職員市役所より1名出向。実員41名。
平成12年11月28日	井ノ口分団屯所完成。
平成13年 3月29日	消防団緊急伝達システム装置（子局）僧津へ設置。
	小型ポンプ付積載車、穴内分団へ配置。
平成13年 3月31日	本部次長兼消防署長小松精一氏退任。実員40名。
平成13年 4月 1日	本部次長兼消防署長に大野雄康氏就任。
平成14年 2月25日	小型ポンプ付積載車、川北分団江川班へ配置。
	江川班の運搬車を川北分団に配置。
平成14年 3月31日	事務職員1名市役所へ戻る。実員39名。
平成14年 4月 1日	職員2名採用、実員41名。
平成14年10月24日	小型ポンプ付積載車、赤野分団へ配置。
平成15年 3月31日	職員1名退職。実員39名。
平成15年 4月 1日	職員1名採用、実員40名。
平成15年 7月30日	井ノ口分団内原野地区格納庫完成。（建替）
平成16年 3月31日	職員1名退職。実員39名。
平成16年 6月25日	室戸市消防本部より救急自動車2B型寄贈、（予備車）消防本部へ配置。

平成16年	7月31日	6代目消防団長五百藏溜氏退任。
平成16年	8月1日	7代目消防団長に野町久壽昭氏就任。
平成17年	2月1日	高規格救急車ハイメディック、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成17年	3月31日	職員1名退職。実員38名。
平成17年	4月1日	高知県消防防災航空隊へ消防職員1名派遣。実員37名。
平成18年	3月27日	赤野分団屯所完成。
平成18年	3月31日	本部次長兼消防署長大野雄康氏退任。 職員3名退職。実員34名。
平成18年	4月1日	本部次長兼消防署長に有澤誠郎氏就任。 事務職員市役所より1名出向。定員38名、実員35名。
平成19年	2月9日	日本消防協会より表彰旗授与。
平成19年	2月21日	消防団緊急伝達システム装置（子局）井ノ口北へ設置。
平成19年	3月31日	職員1名退職。事務職員1名市役所へ戻る。実員33名。
平成19年	4月1日	事務職員市役所より1名出向。職員2名採用、実員36名。
平成19年	10月22日	トヨタ救急車。全国共済農業協同組合連合会より寄贈。
平成20年	3月31日	7代目消防長横山壽美男氏退任。職員1名退職。実員34名。
平成20年	4月1日	8代目消防長に有澤誠郎氏就任。 本部次長兼消防署長に小松昌一氏就任。 職員2名採用、実員36名。
平成21年	2月27日	消防団指揮車。日本消防協会より寄贈、団本部へ配置。
平成21年	3月31日	8代目消防長有澤誠郎氏退任。実員35名。
平成21年	4月1日	9代目消防長に小松敏伸氏就任。 職員1名採用（市役所より出向）、高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員1名戻る。実員38名。
平成21年	12月15日	水槽付消防ポンプ自動車・水1-A購入、消防本部へ配置。
平成22年	12月10日	消防団小型動力ポンプ付軽消防自動車。日本損害保険協会より寄贈、団本部へ配置。
平成23年	2月24日	救助工作車購入、消防本部へ配置。
平成23年	2月25日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、安芸分団へ配置。
平成23年	4月1日	職員2名採用。実員40名。
平成24年	2月8日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、川北分団へ配置。
平成24年	3月31日	職員4名退職。実員36名。
平成24年	4月1日	職員4名採用。高知県消防防災航空隊へ1名出向。実員39名。
平成24年	7月12日	新消防庁舎工事起工。
平成25年	1月18日	高規格救急車ハイメディック購入、消防本部へ配置。
平成25年	3月19日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、伊尾木分団へ配置。
平成25年	3月20日	新消防庁舎工事竣工。
平成25年	3月25日	災害対応通信システムとして、消防救急デジタル無線・消防指令台整備。
平成25年	3月31日	9代目消防長小松敏伸氏退任。 本部次長兼署長小松昌一氏退任。 職員1名退職。実員36名。

平成25年 4月 1日 消防本部に消防課を設置。
10代目消防長に仙頭義文氏就任。
本部次長兼署長兼課長に松本照秋氏就任。
職員1名採用。実員37名。

平成26年 3月17日 消防ポンプ自動車CD-I型購入、土居分団へ配置。

平成26年11月 4日 高規格救急車ハイメディック、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。

平成27年 3月12日 軽四輪多目的車購入、消防本部へ配置。

平成27年 3月17日 消防ポンプ自動車CD-I型購入、穴内分団へ配置。

平成27年 3月20日 多機能型運搬車購入、消防本部へ配置。

平成28年 3月15日 消防ポンプ自動車CD-I型購入、消防本部へ配置。

平成28年 4月 1日 職員1名採用。高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員1名戻る。高知県消防防災航空隊へ1名出向。実員38名。

平成29年 1月21日 消防団運搬車2台購入、土居分団・井ノ口分団へ配置。

平成29年 3月31日 10代目消防長仙頭義文氏退任。実員37名。

平成29年 4月 1日 11代目消防長に松本龍二氏就任。
職員2名採用。実員39名。

平成29年11月12日 消防本部50周年記念式典・祝賀会。

平成29年12月11日 消防団本部防災活動車、日本消防協会より寄贈。防災センターへ配置。

平成30年 3月 6日 日本消防協会より表彰竿頭綬を授与。

平成30年 3月27日 J A高知県共済農業協同組合より高度救命資機材寄贈。2B救急車購入、消防本部へ配置。

平成30年 3月28日 伊尾木分団下山班屯所新築工事竣工。
消防団運搬車2台購入、中央分団・穴内分団へ配置。

平成30年 3月31日 本部次長兼署長兼課長松本照秋氏退任。
職員1名退職。実員37名。

平成30年 4月 1日 本部次長兼署長兼課長に小松定男氏就任。
職員1名採用。実員38名。

平成30年 4月20日 職員1名退職。実員37名。

平成30年 7月31日 7代目消防団長野町久壽昭氏退任。

平成30年 8月 1日 8代目消防団長に安部正治氏就任。

平成30年11月30日 救助用ボート一式購入、消防本部へ配置。

平成30年12月 6日 軽自動車購入、消防本部へ配置。

平成31年 3月 5日 消防団運搬車2台購入、伊尾木分団・畑山分団へ配置。

平成31年 3月31日 職員1名退職。実員36名。

平成31年 4月 1日 職員4名採用。実員40名。

令和 元年 9月 3日 小型ポンプB2級2台購入、奈比賀屯所・畑山の和田格納庫へ配置。

令和 元年12月24日 消防団赤バイク2台購入、防災センターへ配置。

令和 2年 2月28日 消防団運搬車2台購入、安芸分団、東川分団へ配置。

令和 2年 3月31日 11代目消防長松本龍二氏退任。
本部次長兼消防署長小松定男氏退任。
職員4名退職。実員36名。

令和 2年 4月 1日	12代目消防長に松田静幸氏就任。 本部次長兼消防署長に仙頭稔史氏就任。 職員1名採用。高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員1名戻る。実員38名。
令和 2年 8月 5日	小型ポンプB3級2台購入、内原野格納庫・上尾川格納庫へ配置。
令和 2年10月15日	全国共済農業協同組合連合会高知県支部より高度救命資機材・消防本部指令車を寄贈。消防本部へ配置。
令和 2年11月17日	消防団ポンプ車2台購入、赤野分団・井ノ口分団へ配置。
令和 2年11月19日	消防団ポンプ車2台購入、中央分団・畑山分団へ配置。
令和 2年12月23日	消防団救命ボート12隻購入、10分団・2班（江川・下山）へ配置。
令和 3年 2月26日	消防団運搬車2台購入、赤野分団・川北分団へ配置。
令和 3年 3月13日	消防団ポンプ車1台購入、東川分団へ配置。
令和 3年 3月31日	12代目消防長松田静幸氏退任。職員1名退職。実員37名。
令和 3年 4月 1日	13代目消防長仙頭稔史氏就任。 本部次長兼消防署長寺岡勝浩氏就任。実員37名。
令和 3年 7月 5日	小型ポンプC1級2台購入。
令和 3年 9月29日	電動式大型油圧救助器具（ラムシリンダー）購入、消防本部へ配置。
令和 4年 1月13日	職員1名退職。実員36名。
令和 4年 1月14日	消防救急デジタル携帯型無線機購入、消防本部へ配置。
令和 4年 3月31日	職員1名退職。実員35名。
令和 4年 4月 1日	職員2名採用。実員37名。
令和 4年 7月 6日	小型ポンプC1級1台購入、畑山分団へ配置。
令和 4年 7月31日	8代目消防団長安部正治氏退任。
令和 4年 8月 1日	9代目消防団長に中川洋文氏就任。
令和 4年11月15日	高度救急処置シミュレーター購入、消防本部へ配置。
令和 5年 3月31日	13代目消防長仙頭稔史氏退任。 職員2名退職。実員35名。
令和 5年 4月 1日	14代目消防長久川陽氏就任。（市役所より出向） 職員2名採用。実員38名。

総務編

【庶務】

1 安芸市の位置	10
2 安芸市の市勢	10
3 消防職員消防者に対する比較	10
4 現有消防力に対する基準表(消防署)	10
5 安芸市消防の組織	11
6 事務分掌	12
7 消防庁舎等の現況	13

【財政】

1 財政状況(平成12年度～令和4年度)	14
2 令和3年度・令和4年度決算額	15

【人事教養】

1 職員定数及び配置状況	16
2 職員勤続年数状況	16
3 職員年齢別状況	17
4 職員研修終了状況	17
5 職員特殊技能資格取得状況	18
6 歴代消防長・署長	
(ア)歴代消防長	19
(イ)歴代消防署長	20

庶務

1. 安芸市の位置

位 置	東 北	経 緯	1 3 3 ° 4 5 ' 3 3 ° 3 0 '
面 積			3 1 7 . 1 6 k m ²

2. 安芸市の市勢

国 勢 調 査 (令和2年)	人 口	1 6 , 2 4 3 人
	世 帯 数	7 , 2 9 5 世帯
住 民 基 本 台 帳 (R. 5. 3. 31)	人 口	1 6 , 0 9 7 人
	世 帯 数	8 , 0 0 2 世帯

3. 消防職団員消防車に対する比較

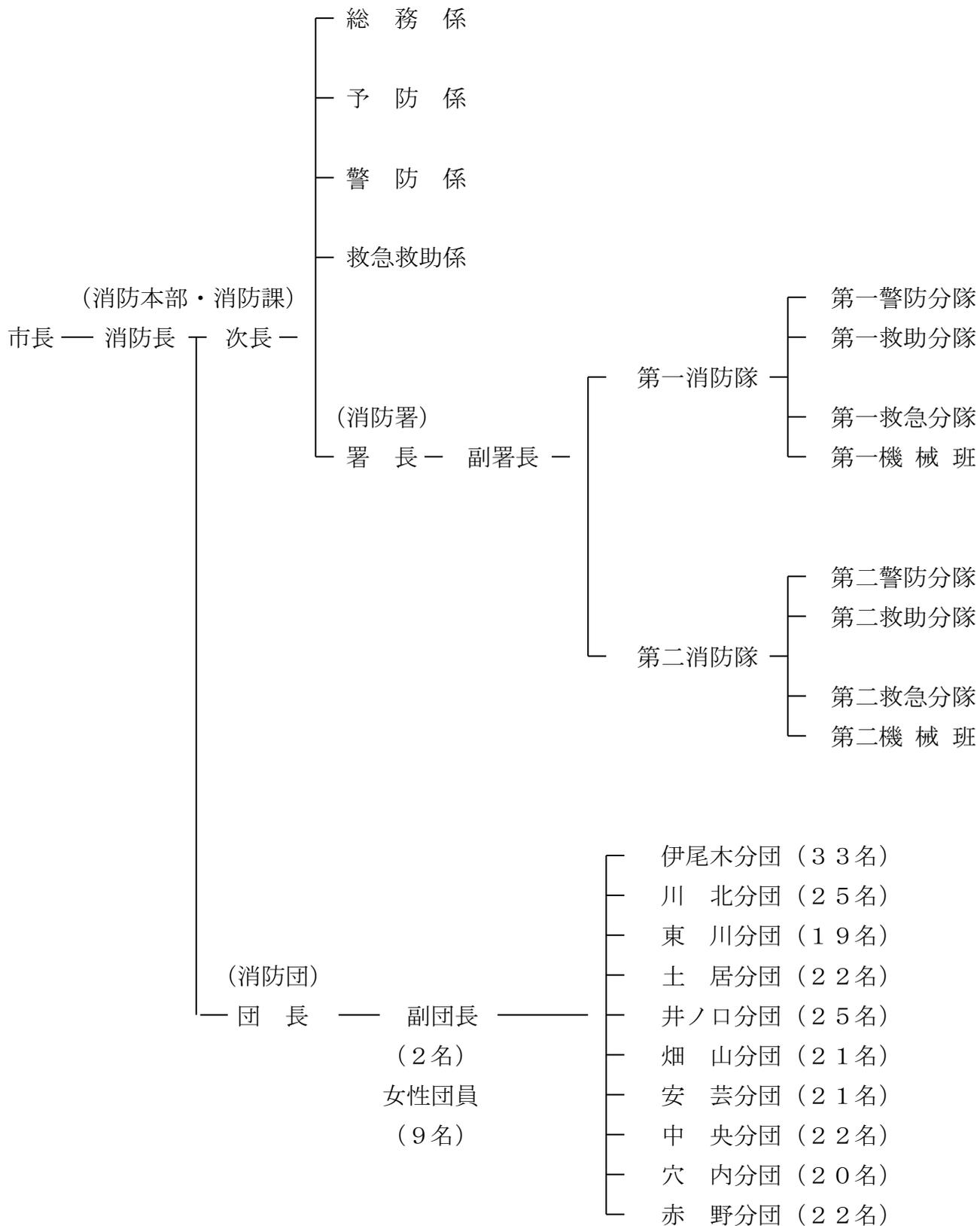
		面 積 (k m ²)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	備 考
消防職員 1 人につき	人	8. 35	(427) 424	(192) 211	()は国調に 対するもの 他は住民基本 台帳
消防団員 1 人につき	人	1. 31	(67) 67	(30) 33	
ポンプ車 1 台につき	署 2 台	158. 6	(8, 122) 8, 049	(3, 648) 4, 001	
	団 1 0 台	31. 7	(1, 624) 1, 610	(730) 800	

4. 現有消防力に対する基準数 (消防署)

区 分		基 準		過 (+) 現 有 不足 (-)	
施 設	署 所	市街地 (10. 000=1)	1	1	0
	消 防 車	消 防 車	2	2	0
	救 急 車	救 急 車	2	2	0
人 員	署 所 要 員	消 防 隊 員	2 7	1 3	- 1 4
		救 急 隊 員	1 8	1 4	- 4
		救 助 隊 員	1 5	0	- 1 5
		通 信 要 員	3	0	- 3
		予 防 要 員	4	2	- 2
		指 揮 隊 員	3	3	0
		庶 務 等	3	1	- 2
備 考	現有消防力 (R. 5. 4. 1.)				

5. 安芸市消防の組織

消 防 機 関



6. 事務分掌

総務係

1. 消防予算に関すること。
2. 公印の保管、文書の収発に関すること。
3. 条例、規則等の改廃に関すること。
4. 消防施設の営繕管理及び総合企画に関すること。
5. 職員の人事教養及び福利厚生に関すること。
6. 職員の被服等の貸与品の調達支給に関すること。
7. 消防団事務に関すること。
8. 高知県市町村総合事務組合事務に関すること。
9. 職員委員会に関すること。
10. 表彰に関すること。
11. 服務に関すること。
12. その他、他の係に属さないこと。

予防係

1. 危険物の許可、認可、届出、検査に関すること。
2. 防火管理者に関すること。
3. 消防用設備の検査及び指導に関すること。
4. 予防査察に関すること。
5. 火災予防の指導取締りに関すること。
6. 防火思想の普及、啓発に関すること。
7. 建築物の同意事務に関すること。
8. 化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和 42 年法律第 149 号)に基づく意見書の交付に関すること。
9. 火薬類取り締まりに関すること。
10. 高圧ガス保安法に関すること。
11. 防火クラブに関すること。
12. 火災等の原因調査に関すること。
13. 火災等の報告等に関すること。
14. 罹災証明に関すること。
15. 火災統計に関すること。
16. その他、予防・原因調査に関すること。

警防係

1. 水防、警防計画に関すること。
2. 災害時の警戒防衛、応急対策に関すること。
3. 消防通信施設の運用管理に関すること。
4. 火災警報の発令解除に関すること。
5. 消防気象に関すること。
6. 消防地理及び水利に関すること。
7. 消防用機械器具の整備保全に関すること。
8. 公衆の出入りする場所等の警備に関すること。
9. 消防職、団員の訓練、礼式に関すること。
10. 自衛消防隊の訓練指導に関すること。
11. 防災訓練に関すること。
12. 消防車両等の整備に関すること。
13. 応援協定、広域受援に関すること。
14. その他、警防事務に関すること。

救急救助係

1. 救急法の指導に関すること。
2. 救急用資機材の配備保全に関すること。
3. 救急車両の整備保全に関すること。
4. 救急業務の計画及び調査研究に関すること。
5. 医療機関との連絡調整に関すること。
6. 救急に係る技術、装備の研究に関すること。
7. 搬送・出動等の証明に関すること。
8. 救助用資機材の配備保全に関すること。
9. 救助車両の整備保全に関すること。
10. 救助業務の計画及び調査研究に関すること。
11. 救助に係る技術、装備の研究に関すること。
12. 水中の救助に関すること。
13. その他、救急救助に関すること。

7.消防庁舎等の現況

		床面積	建築面積 (延べ面積)	敷地面積	建築物構造
1階	エントランスホール 車庫 消毒室 出動準備室 油庫 男女共用トイレ	892.57 m ²	1,023.61 m ² (3,051.38 m ²)	4,864.61 m ²	1階鉄筋コンクリート造 2～3階鉄骨造
2階	事務室 更衣室 放送室 通信指令室 通信機器室 消防長室 食堂 仮眠室 資材室 市民ギャラリー 多目的トイレ 男子トイレ 女子トイレ	881.31 m ²			
3階	避難室 (347 m ²) 会議室相談室 消防団本部 災害対策本部 女子仮眠室 倉庫 男子トイレ 女子トイレ	881.31 m ²			
4階	発電機室 (58時間対応)	66.49 m ²			
訓練施設	訓練主塔 訓練副塔	219.8 m ² 109.9 m ²			鉄骨造
	ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出 引揚救助 ほふく救出			障害突破 はしご登はん ロープ応用登はん	

財 政

1. 財政状況（平成12年度～令和4年度）

区分 年度	一般会計決算額 (円)	消防決算額 (円)	比率	住民基本台帳		消 防 費	
				人口	世帯	1 人 当 り (円)	1 世帯 当 り (円)
12	14,348,568,000	423,177,482	2.94	22,021	8,970	19,217	47,177
13	13,381,325,000	369,602,991	2.76	21,421	8,276	17,254	44,660
14	13,471,163,450	357,222,708	2.65	21,739	8,982	16,432	39,771
15	12,644,516,194	327,126,765	2.58	21,481	8,916	15,228	36,689
16	11,316,555,887	346,900,300	3.07	21,866	8,982	15,865	38,622
17	12,025,447,644	329,192,639	2.74	21,248	8,918	15,492	36,913
18	10,392,795,990	304,887,338	2.93	21,111	8,964	14,442	34,012
19	10,826,719,000	320,431,203	2.96	20,392	8,875	15,714	36,105
20	10,791,726,326	299,002,535	2.77	20,135	8,879	14,850	33,675
21	11,591,112,476	367,044,206	3.17	19,899	8,869	18,445	41,385
22	11,497,003,171	352,299,110	3.06	19,642	8,830	17,936	39,898
23	13,292,394,000	485,313,255	3.65	19,377	8,793	25,046	55,193
24	12,932,834,276	1,290,297,259	9.98	19,106	8,702	67,534	148,276
25	12,398,113,360	328,716,707	2.65	18,824	8,669	17,462	37,918
26	12,687,579,362	391,492,026	3.08	18,458	8,564	21,209	45,713
27	13,804,088,550	352,233,043	2.55	18,100	8,496	19,460	41,458
28	12,843,049,671	361,237,991	2.81	17,786	8,442	20,310	42,790
29	12,431,587,993	391,513,368	3.14	17,548	8,384	22,310	46,697
30	12,667,872,285	368,442,523	2.91	17,266	8,314	21,339	44,316
元	13,945,871,975	380,701,494	3.18	16,966	8,242	22,439	46,190
2	16,793,764,827	497,627,041	2.96	16,716	8,154	29,769	61,028
3	16,744,044,047	309,580,105	1.84	16,869	8,245	18,352	37,547
4	22,862,754,000	392,203,504	1.71	16,097	8,002	24,365	49,013

令和3年度・令和4年度決算額（内訳）

項目	節	令和3年度金額	令和4年度	
			金額	消防費決算に対する割合
常備 消防費	給 与	122,460,185	123,044,400	75.07%
	職 員 手 当	80,801,225	78,418,262	
	共 済 費	39,628,475	39,479,493	
	報 償 費	0	10,000	
	旅 費	38,933	986,935	
	需 用 費	12,640,497	13,540,571	
	役 務 費	3,718,357	3,886,781	
	委 託 料	8,581,134	8,661,020	
	使 用 料 及 び 賃 借 料	549,744	559,494	
	原 材 料 費	55,926	99,900	
	備 品 購 入 費	2,601,812	19,653,370	
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	2,227,275	5,877,702	
	公 課 費	194,200	192,000	
	小 計	273,497,763	294,409,928	
非常備 消防費	報 酬	9,373,741	10,841,077	7.80%
	報 償 費	588,892	2,992,572	
	旅 費	3,019,468	2,966,869	
	需 用 費	3,457,123	3,496,500	
	役 務 費	727,490	884,064	
	委 託 料	258,720	258,720	
	使 用 料 及 び 賃 借 料	156,255	156,255	
	備 品 購 入 費	168,960	338,800	
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	7,999,918	8,108,245	
	公 課 費	322,200	542,200	
	小 計	26,072,767	30,585,302	
消防 施設費	需 要 費	0	794,907	16.79%
	役 務 費	1,491,600	889,163	
	委 託 料	2,090,000	14,234,000	
	工 事 請 負 費	1,323,135	17,754,000	
	公 有 財 産 購 入 費	0	27,861,511	
	備 品 購 入 費	4,892,800	1,254,000	
	補 償 補 て ん 及 び 賠 償 金	0	3,069,048	
小 計	9,797,535	65,856,629		
災害 対策費	需 用 費	174,202	154,605	0.34%
	役 務 費	17,000	16,000	
	委 託 料	0	1,170,850	
	原 材 料 費	20,838	10,190	
	小 計	212,040	1,351,645	
合 計		309,580,105	392,203,504	100%

人事教養

1. 職員定員及び配置状況

区 分		階 級 別						無 階 級	計
		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
定 員								40	
実 員		1	8	9	6	7	7	38	
配 置	本 部	1	4	1	1		2	9	
	署		4	8	5	7	5	29	

2. 職員勤続年数状況

区 分	階 級 別						無 階 級	計
	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
5年未満	1				2	6		9
5年以上～10年未満					3	1		4
10年以上～15年未満				6	2			8
15年以上～20年未満			3					3
20年以上～25年未満			3					3
25年以上～30年未満		4	2					6
30年以上		4	1					5
計	1	8	9	6	7	7		38

3. 職員年齢別状況

区分	階級別							計
	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	無階級	
18歳以上～20歳未満						1		1
20歳以上～25歳未満						4		4
25歳以上～30歳未満					5	2		7
30歳以上～35歳未満				2	2			4
35歳以上～40歳未満			2	4				6
40歳以上～45歳未満			3					3
45歳以上～50歳未満		3	4					7
50歳以上～55歳未満		4						4
55歳以上	1	1						2
計	1	8	9	6	7	7		38

4. 職員研修修了状況

区分	階級別							計
	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	無階級	
消防大学	上級幹部科							
	新任消防長科							
	予防科			1				1
	警防科							
	火災調査科		1					1
高知県消防学校		8	9	6	7	5		35
救急専科教養		8	6					14
救急Ⅱ課程		8	6					14
救急標準課程			2	6	7	5		20
救急救命士		3	4	4	3			14

5. 職員特殊技能資格取得状況

階 級 別 人 数		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	無 階 級	計
		1	8	9	6	7	7		38
第 二 種	大 型 免 許								
	普 通 免 許								
第 一 種	大 型 免 許		1	1					2
	中 型 免 許				1	7	5		13
	中 型 免 許 (8 t 限 定)	1	8	9	5				23
	準 中 型 免 許								
	準 中 型 免 許 (5 t 限 定)				1	7	3		11
	普 通 免 許								
	自 動 二 輪		2	5	5	2	3		17
特 殊 無 線 技 師			8	9	6	7	5		35
消 防 設 備 点 検 資 格 者									
防 火 対 象 物 点 検 資 格 者									
予 防 技 術 資 格 者 (設 備)			1	1		1			3
予 防 技 術 資 格 者 (査 察)			2	1	2	1			6
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物)				1		1			2
危 険 物 取 扱 者 免 許 (乙 第 4 類)			7	7	4	5	2		25
危 険 物 取 扱 者 免 許 (丙)			5	3	1				9
消 防 設 備 士 (乙 類 第 1 類)			2	3					5
消 防 設 備 士 (乙 類 第 4 類)			2	3					5
消 防 設 備 士 (乙 類 第 5 類)			1	2					3
消 防 設 備 士 (乙 類 第 6 類)			2	4					6
潜 水 士			7	9	5	5	1		27
小 型 船 舶 操 縦 士							1		
可 搬 消 防 ポ ン プ 等 整 備 資 格 者				1					1
小 型 移 動 式 ク レ ーン			6	7	3	4			20
玉 掛 け			6	7	3	4			20

6. 歴代消防長・署長

(ア) 歴代消防長

代	氏名	在職期間	備考
初代	山崎初男	自 昭和42年 4月 1日 至 昭和49年 9月 4日	7年5ヶ月 安芸市長 事務取扱い
2代	岡村喜郎	自 昭和49年 9月 5日 至 昭和51年 3月 31日	1年7ヶ月 安芸市長 事務取扱い
3代	伊藤嘉幸	自 昭和51年 4月 1日 至 昭和60年 3月 31日	9年
4代	山崎勲	自 昭和60年 4月 1日 至 平成4年 3月 31日	7年
5代	仙頭齊	自 平成4年 4月 1日 至 平成6年 3月 31日	2年
6代	森田修一	自 平成6年 4月 1日 至 平成12年 3月 31日	6年
7代	横山壽美男	自 平成12年 4月 1日 至 平成20年 3月 31日	8年
8代	有澤誠郎	自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日	1年
9代	小松敏伸	自 平成21年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日	4年
10代	仙頭義文	自 平成25年 4月 1日 至 平成29年 3月 31日	4年
11代	松本龍二	自 平成29年 4月 1日 至 令和2年 3月 31日	3年
12代	松田静幸	自 令和2年 4月 1日 至 令和3年 3月 31日	1年
13代	仙頭稔史	自 令和3年 4月 1日 至 令和5年 3月 31日	2年
14代	久川陽	自 令和5年 4月 1日 至 現在	

(イ) 歴代消防署長

代	氏名	在職期間	備考
初代	小松 亦吾郎	自 昭和42年 4月 1日 至 昭和50年 3月 31日	8年 本部次長兼任
2代	伊藤 嘉幸	自 昭和50年 4月 1日 至 昭和54年 3月 31日	4年 消防長兼任
3代	森澤 民平	自 昭和54年 4月 1日 至 昭和59年 3月 31日	5年 本部次長兼任
4代	島崎 賀行	自 昭和59年 4月 1日 至 昭和62年 3月 31日	3年 本部次長兼任
5代	楠瀬 要一	自 昭和62年 4月 1日 至 平成 6年 3月 31日	7年 本部次長兼任
6代	横山 壽美男	自 平成 6年 4月 1日 至 平成12年 3月 31日	6年 本部次長兼任
7代	小松 精一	自 平成12年 4月 1日 至 現在13年 3月 31日	1年 本部次長兼任
8代	大野 雄康	自 平成13年 4月 1日 至 現在18年 3月 31日	5年 本部次長兼任
9代	有澤 誠郎	自 平成18年 4月 1日 至 現在20年 3月 31日	2年 本部次長兼任
10代	小松 昌一	自 平成20年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日	5年 本部次長兼任
11代	松本 照秋	自 平成25年 4月 1日 至 平成30年 3月 31日	5年 本部次長兼任
12代	小松 定男	自 平成30年 4月 1日 至 令和 2年 3月 31日	2年 本部次長兼任
13代	仙頭 稔史	自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日	1年 本部次長兼任
14代	寺岡 勝浩	自 令和 3年 4月 1日 至 現在	本部次長兼任

警 防 編

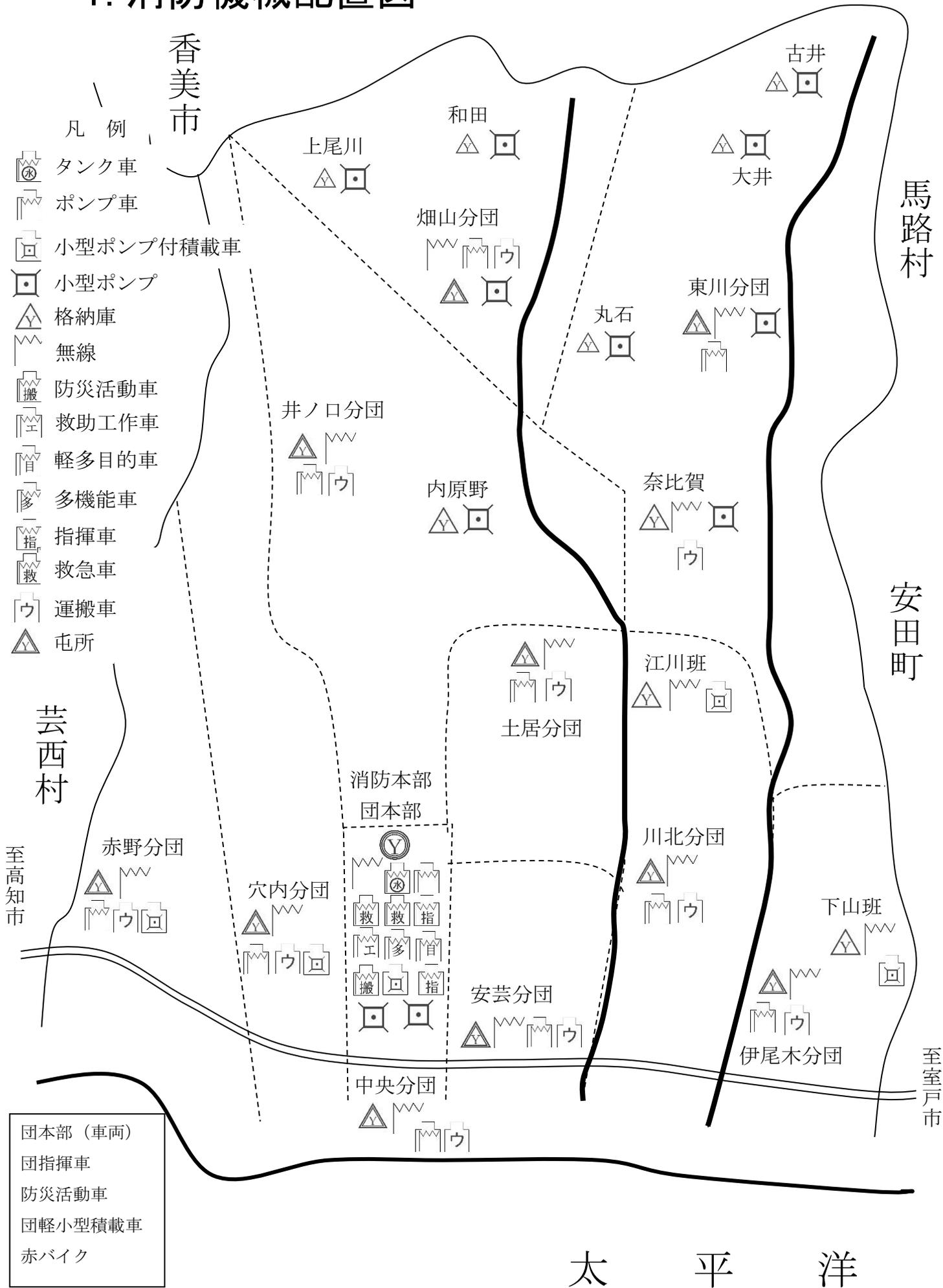
【機材・水利】

1 消防機器配置図	22
2 消防水利状況(防火水槽)	23
3 消防団現有配備・消防水利充足状況	25
4 消防署現有配備・消防通信設備状況	25
5 消防資機材	26

【通 信】

1 警防	
(通信 デジタル波)	27
(固定局 安芸市防災行政無線)	28
2 通信連絡系統表	30
3 サイレン遠隔制御装置	
(安芸市防災行政無線・デジタル波)	31

1. 消防機械配置図



2. 消防水利状況（防火水槽）

地区名	設置場所	耐震	容量（t）	完成年度	地区名	設置場所	耐震	容量（t）	完成年度	
市街地 (21)	黒鳥		20t級		栃ノ木 (1)	東地		20t級		
	西浜	耐震	40t級	平成10年度		尾川 (4)	下尾川		20t級	
	西浜	耐震	40t級	平成30年度	下尾川			20t級		
	西浜	耐震	40t級	平成25年度	上尾川			20t級		
	西浜	耐震	100t級	令和2年度	上尾川			20t級		
	東浜	耐震	40t級	平成13年度	土居 (9)	玉造		20t級		
	東浜	耐震	40t級	平成30年度		春日		20t級		
	宝永町	耐震	40t級	平成13年度		上中村	耐震	40t級	平成28年度	
	津久茂町		20t級			溝ノ辺	耐震	40t級	平成10年度	
	津久茂町		20t級			長屋		40t級		
	千歳町		20t級			長屋	耐震	40t級	令和2年度	
	千歳町	耐震	40t級	平成8年度		西木戸	耐震	40t級	平成10年度	
	本町五丁目	耐震	40t級	平成12年度		廊中		40t級		
	本町五丁目		20t級			廊中		40t級		
	本町四丁目		20t級		僧津 (5)	僧津		20t級		
	久世町		20t級			僧津		20t級		
	本町三丁目	耐震	40t級	平成9年度		僧津	耐震	40t級	平成16年度	
	寿町		20t級	平成2年度		僧津	耐震	40t級	令和3年度	
	本町一丁目		40t級			僧津	耐震	40t級	令和4年度	
	幸町	耐震	40t級	平成18年度		新町		20t級		
	港町一丁目	耐震	40t級	令和4年度		川北 (19)	西の島	耐震	40t級	平成21年度
赤野 (11)	叶岡		40t級		中村			20t級		
	叶岡前		40t級		西ノ岡			20t級		
	西ノ岡		20t級		西ノ岡			20t級		
	西寄		40t級		コウジ			40t級		
	東寄		20t級		八幡			20t級		
	東寄	耐震	20t級	平成10年度	舞ヶ丘			20t級		
	桜浜		40t級		横山		耐震	40t級	平成10年度	
	東赤野		20t級		横山			20t級		
	山田		40t級		折坂		耐震	40t級	平成26年度	
	八流		40t級		折坂			20t級		
太夫屋地		20t級		堂ノ尾			20t級			
穴内 (20)	八流		20t級		堂ノ尾			20t級		
	堀切		20t級		内原野		耐震	40t級	平成10年度	
	堀切		20t級		内原野		耐震	40t級	平成19年度	
	六丁		40t級		内原野		耐震	30t級	平成26年度	
	六丁		40t級		内原野		耐震	40t級	平成17年度	
	六丁		20t級		伊尾木 (10)		西組		20t級	
	西地	耐震	40t級	平成12年度			中組	耐震	40t級	平成10年度
	西地		20t級			中組		20t級		
	塩屋		20t級			中組		20t級		
	奥ノ谷		20t級			東組	耐震	40t級	平成16年度	
	八丁ノ下		20t級			東組		40t級		
	八丁ノ下		20t級			東組		20t級		
	八丁		20t級			岡		40t級		
	立花		20t級			岡		20t級		
立花	耐震	40t級	平成19年度	宮田岡		耐震	40t級	平成19年度		
刑部		20t級		下山 (9)	白馬		40t級			
刑部	耐震	40t級	平成28年度		不動	耐震	40t級	平成13年度		
新城		20t級			大山	耐震	40t級	平成12年度		
新城		20t級			大山		20t級			
大平		20t級			西ノ浜		20t級			
高台寺		20t級			浜ノ西		20t級			
高台寺		20t級			浜ノ西		20t級			
井ノ口 (14)	一ノ宮		20t級		東地		20t級			
	一ノ宮		40t級		名綱	耐震	20t級			
	一ノ宮		20t級		畑山 (4)	寺内		40t級		
	一ノ宮	耐震	40t級	令和4年度		谷口		40t級		
	黒岩	耐震	40t級	平成10年度		奈路		20t級		
	国重		20t級			和田		40t級		
	宮ノ上	耐震	40t級	平成9年度	大井 (3)	中村		20t級		
	宮ノ上		40t級			丸石		20t級		
	山田		20t級			黒瀬 (1)	大井		20t級	
	山田	耐震	40t級	平成10年度			黒瀬		20t級	
	沢ノ平		40t級							

地区名	設置場所	耐震	容量 (t)	完成年度	地区名	設置場所	耐震	容量 (t)	完成年度
古井 (1)	伊田淵		20 t 級		合計			137	
奈比賀 (2)	奈比賀		20 t 級						
	大江		40 t 級						
入河内 (3)	入河内		20 t 級						
	入河内		20 t 級						
	入河内		20 t 級						

3. 消防団現有配備・消防水利充足状況

区分	種 別	数 量	備 考
消防ポンプ	ポンプ車	10	市街地100%
	小型ポンプ付積載車	4	
	小型ポンプ	9	
	小型ポンプ付軽消防自動車	1	
消防水利	消 火 栓	666	市街地・土居・穴内・井ノ口 川北・伊尾木・赤野・他
	貯 水 槽	97	40 t (25) 20 t (72)
	耐震性貯水槽	40	100 t (1) 40 t (36) 30 t (1) 20 t (2)

4. 消防署現有配備・消防通信設備状況

消防ポンプ自動車	CD-I型	1台
	水1-A型	1台
	予備車	1台
救 急 車	高規格型	2台
	予 備 車	1台
救助工作車		1台
多機能車		1台
軽多目的車		1台
指 揮 車		1台
小型ポンプ		2台
消防用無線局		
デジタル波	基地局 (20W)	1基 (安芸市消防本部内)
	固定局 (50mW)	2基 (安芸市消防本部内・大山中継局内)
	移動局 (10W)	39基
	〃 (5W)	10基
防災行政無線		
デジタル波	基地局 (10mW)	1基 (安芸市消防防災センター内)
	中継局 (10mW・5W)	1基 (旭ヶ丘中継所内)
	再送信子局 (1mW・1W)	1基 (下山大山再送信子局内)
	固定局 (300mW・100mW・10mW・5mW・1mW)	68基

5. 消防資機材

	品名	数量		品名	数量
一般救助器具	三連梯子	1	切断破壊器具	エアーソー	1
	ワイヤー梯子	1		電気ハンマードリル	2
	空気式救助マット	1		特殊斧（弁慶）	4
	救命索発射銃	2		指輪切断器具	1
	舟形担架	2		エンジンカッター	2
	救助用縛帯	1		チェーンソー	2
	シットハーネス	21		レシプロソー	1
	フルボディハーネス	10		オグラ（マルチ）一式	1
	滑車	15		オグラ（コンビ）一式	2
	救助安全マット	2		ルーカスe-ドロリック（スプレッター）	1
	張力計	1		ルーカスe-ドロリック（カッター）	1
	マンホール救助資機材一式	1		重量物排除器具	油圧ジャッキ
	山岳用救助器具	各種	マイティバグ一式		1
	カラビナ	各種	マイティバグ用マット		4
	ピタゴール縛帯	4	チルホール		1
	パーティカルストレッチャー	1	隊員保護器具	空気呼吸器一式（ボンベ込）	15
	タイタン	1		救助大会用呼吸器	2
				空気呼吸器用予備ボンベ	12
				耐電防護資機材一式	3
				特殊手袋（ケブラー製）	37
		陽圧式化学防護服		2	
		ガス検知器		1	
		発電機		8	
水難救助器具	個人用アクアラング一式	14	照明・その他の器具	投光器	10
	アクアラング用ポンベ	8		空気充填機	1
	BC ジャケット	4		ジェットシューター	26
	水中ライト	2		寝袋	3
	救命胴衣	23		送排風機一式	1
	救命浮環（大2・小2）	4			
	レスキューチューブ	1			
	潜水用ヘルメット	6			
	救助用ボート	1			
	船外機一式（故障中）	1			

1. 警防（通信 デジタル波）

区分 電波の形式	局の種類	呼出名称	空中線 電力	設置場所及び 車輛名称等
5K80G1D 5K80G1E	基地局	あきしょうぼう	20W	送受信所 大山中継局内 通信所 消防本部内
2M50G7W マイクロ波	固定局	あきしょうぼう こてい	50mW	消防本部内
〃	固定局	あきしょうぼう おおやま こてい	50mW	大山基地局内
5K80G1D 5K80G1E	移動局	あきしょうぼう1	10W	タンク車
〃	〃	あきしょうぼう2	10W	ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう3	10W	救助工作車
〃	〃	あきしょうぼう4	10W	指揮車
〃	〃	あきしょうぼう5	10W	ポンプ予備車
〃	〃	あきしょうぼう6	10W	団防災活動車
〃	〃	あきしょうぼう7	10W	多機能車
〃	〃	あきしょうぼう8	10W	軽多目的車
〃	〃	あききゆうきゆう1	10W	救急車予備車
〃	〃	あききゆうきゆう2	10W	救急車
〃	〃	あききゆうきゆう3	10W	救急車
〃	〃	あきしょうぼう9	10W	団指揮車
〃	〃	あきしょうぼう10	10W	団軽四消防車
〃	〃	あきしょうぼう20	10W	伊尾木分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう21	10W	伊尾木分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう22	10W	下山班積載車
〃	〃	あきしょうぼう23	10W	川北分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう24	10W	川北分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう25	10W	江川班積載車
〃	〃	あきしょうぼう26	10W	東川分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう27	10W	奈比賀班積載車
〃	〃	あきしょうぼう28	10W	土居分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう29	10W	土居分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう30	10W	井ノ口分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう31	10W	井ノ口分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう32	10W	畑山分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう33	10W	畑山分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう34	10W	安芸分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう35	10W	安芸分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう36	10W	中央分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう37	10W	中央分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう38	10W	穴内分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう39	10W	穴内分団積載車
〃	〃	あきしょうぼう40	10W	赤野分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう41	10W	赤野分団積載車
〃	〃	あきしょうぼう42	10W	穴内分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう43	10W	赤野分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう50	10W	卓上固定移動局
〃	〃	あきしょうぼう51	10W	可搬型移動局
〃	〃	あきしょうぼう 60~69	5W	携帯1~10

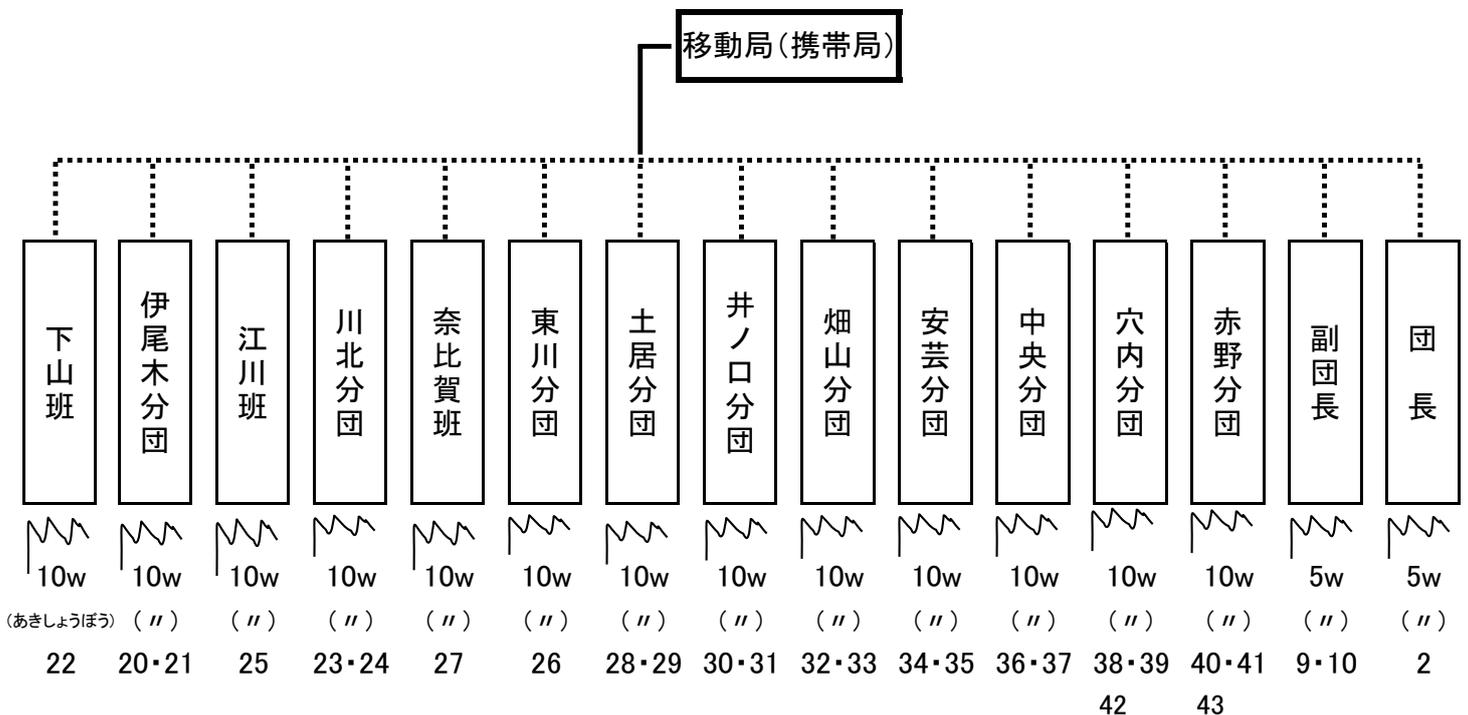
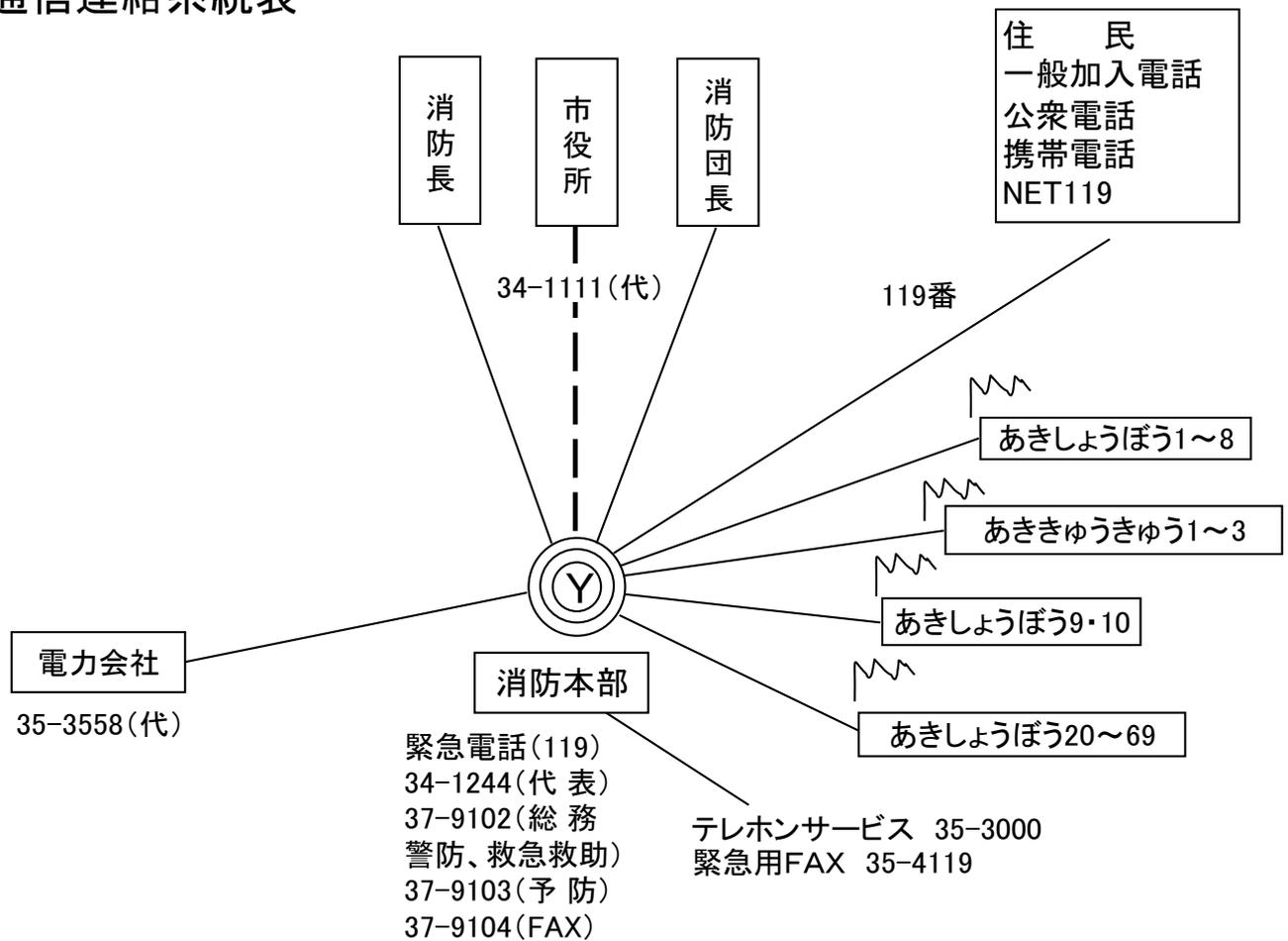
(固定局—安芸市防災行政無線)

電波の型式	局の種類	子局箇所名	空中線電力	設置場所
15K0D7W	固定局	矢ノ丸1丁目		安芸市役所西庁舎
〃	〃	安芸中学校	10mW	安芸中学校西側市道
〃	〃	桜ヶ丘町	10mW	安芸市総合運動公園
〃	〃	宝永町	10mW	宝永集会所
〃	〃	千歳町		千歳町第2児童遊園
〃	〃	清和町		清和町児童遊園
〃	〃	寿町	1mW	元気館
〃	〃	矢ノ丸3丁目	10mW	安芸市民会館
〃	〃	港町1丁目		浄化センター南
〃	〃	津久茂町	10mW	津久茂公民館
〃	〃	黒鳥	10mW	黒鳥公民館
〃	〃	防災センター		安芸市消防防災センター
〃	〃	伊尾木保育所	100mW	伊尾木保育所
〃	〃	伊尾木西組		伊尾木1618-2地先
〃	〃	伊尾木東組	10mW	伊尾木小学校
〃	〃	下山不動		不動公園
〃	〃	下山河野	100mW	下山1466-5先堤
〃	〃	下山漁港		伊尾木漁港
〃	〃	下山大山		大山配水地前市道
〃	〃	下山西ノ浜		下山小学校
〃	〃	下山浜ノ西	1mW	下山字石ノ本2449-1
〃	〃	川北西ノ島	10mW	西ノ島集会所
〃	〃	川北栄町		旧川北園芸
〃	〃	川北上島	100mW	川北公民館
〃	〃	川北清水寺岡	10mW	清水ヶ丘中学校
〃	〃	川北久保田		川北水源地
〃	〃	川北中村		川北甲412番6
〃	〃	川北西ノ岡		キセキレイの里西側市道
〃	〃	川北東ノ岡	300mW	川北甲字荒地114-2
〃	〃	伊尾木宮田岡	10mW	宮田岡集会所
〃	〃	内原野	10mW	内原野住宅団地内
〃	〃	江川	100mW	江川公民館
〃	〃	奈比賀	1mW	川北小学校奈比賀分校
〃	〃	入河内	1mW	東川公民館
〃	〃	土居春日	10mW	春日玉造集会所

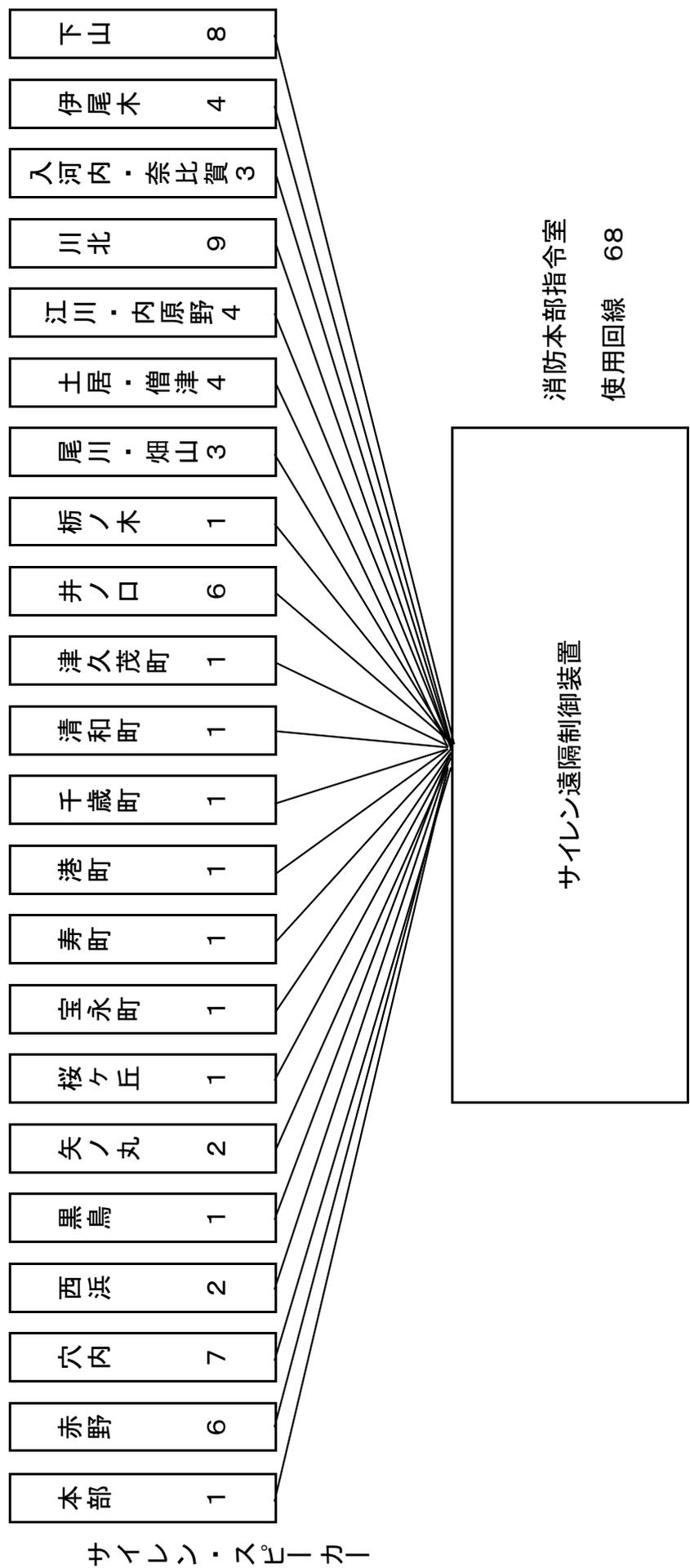
電波の型式	局の種類	子局箇所名	空中線電力	設置場所
15K0D7W	固定局	土居春日	10mW	春日玉造集会所
"	"	土居上中	10mW	土居字上中村 1427-3
"	"	土居長屋	10mW	土居公民館
"	"	僧津	10mW	僧津集会所
"	"	井ノ口高台寺	10mW	高台寺市営住宅内公園
"	"	井ノローノ宮		岩崎弥太郎生家南東側市道
"	"	井ノ口黒岩	10mW	井ノ口公民館
"	"	井ノ口山田	1mW	山田グラウンド
"	"	栃ノ木	5mW	栃ノ木公民館
"	"	下尾川	1mW	尾川甲 253-3 地先
"	"	畑山		畑山公民館
"	"	穴内腰掛		穴内乙 688-21
"	"	穴内大平	10mW	穴内大平新城集会所
"	"	穴内八丁ノ下	300mW	穴内乙 2331-2 地先
"	"	穴内塩屋	100mW	穴内公民館
"	"	穴内八流		穴内甲 51-6
"	"	赤野山田	10mW	赤野山田集会所
"	"	赤野桜浜		赤野分団屯所
"	"	赤野東赤野		赤野乙 3061-2
"	"	赤野西寄	300mW	赤野西寄集会所
"	"	赤野叶岡	100mW	叶岡集会所
"	"	井ノ口横立	1mW	横立集会所
"	"	内原野公園		内原野公園
"	"	穴内小学校	100mW	穴内小学校
"	"	赤野住吉		赤野乙 2933-176
"	"	穴内六丁	1mW	穴内甲 1094 番 2
"	"	西浜馬ノ丁		西浜 2726 番 5
"	"	下山河野		下山 1458-6
"	"	下山西地		下山 839 番 1
"	"	畑山谷口		畑山甲 777 番 1
"	"	奈比賀本村		奈比賀分団屯所
"	"	井ノ口松原		井ノ口乙 3739 番 1
"	"	川北横山		川北乙 2084 番 4
"	"	川北八幡		川北甲 5440 番 1

※空中線電力が空白の子局は受信のみ、アンサーバック無し。

2. 通信連絡系統表



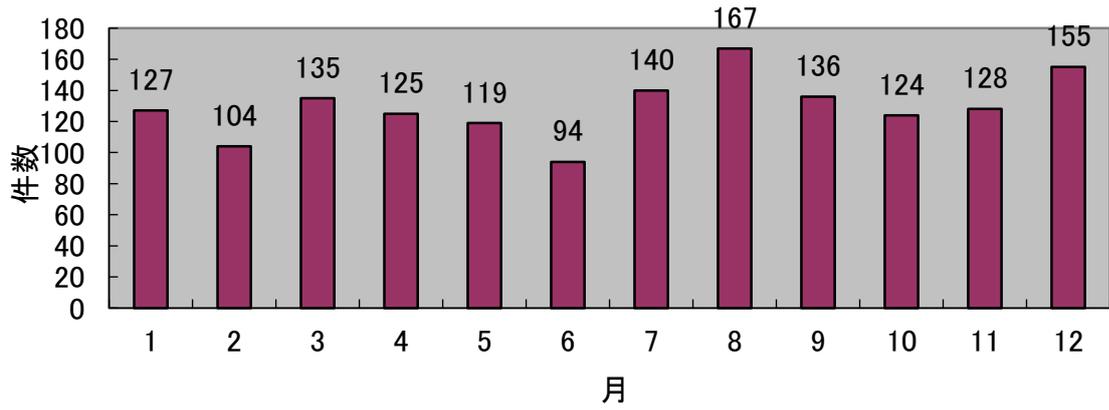
3. サイレン遠隔制御装置(安芸市防災行政無線・デジタル波)



救急統計編

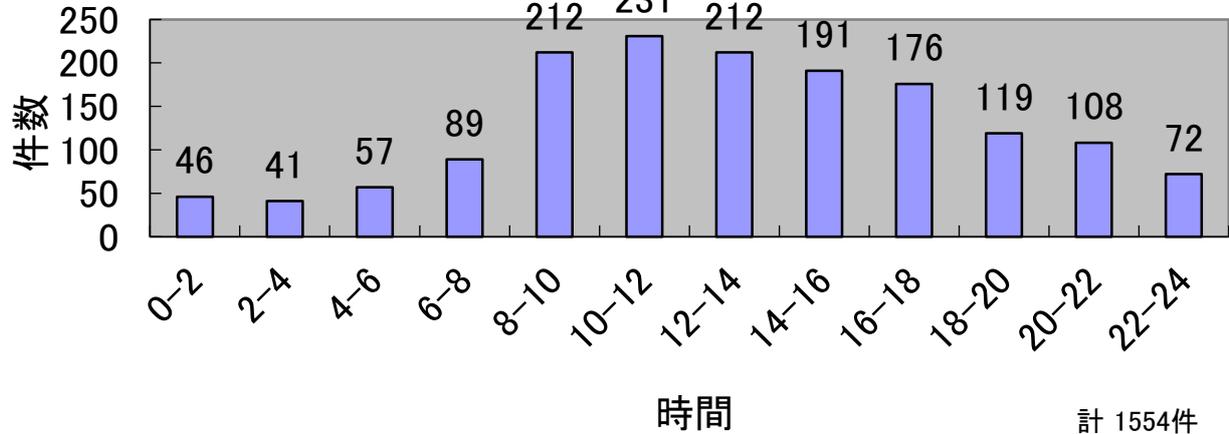
1	月別出場状況表	33
2	時間別出場状況表	33
3	曜日別出場状況表	33
4	事故種別出場状況表	33
5	救急出場件数	35
6	搬送人員	35
7	年齢別・傷害程度別搬送人員	36
8	事故種別理由別搬送件数	36
9	救急隊員の行った応急処置件数	36
10	覚知別・傷害別件数	37
11	事故種別年齢区分別搬送人員	37
12	事故種別傷害程度別搬送人員	37
13	現場到着所用時間別出場件数	38
14	収容所要時間別搬送人員	38
15	事故種別医療機関別搬送人員	39
16	救急法指導実施状況	40

1. 月別出場状況表



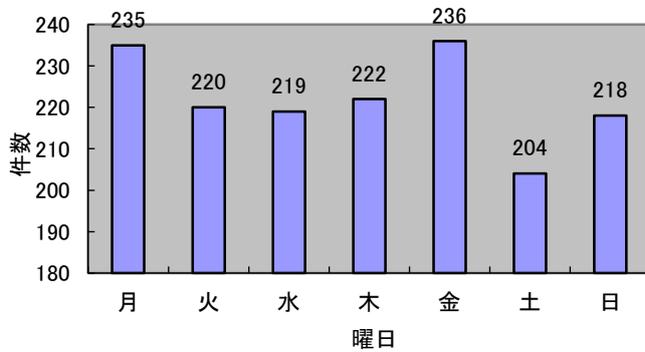
計 1554件

2. 時間別出場状況表



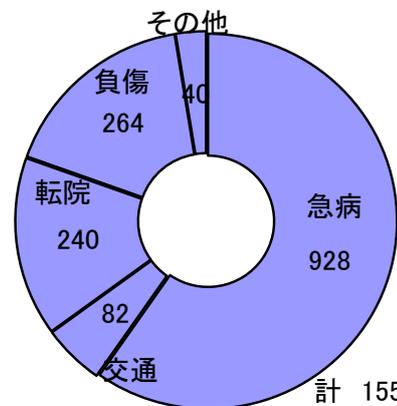
計 1554件

3. 曜日別出場状況表



計 1554件

4. 事故種別出場状況表



計 1554件

令和4年救急出場年報

1 月別出場状況表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	127	104	135	125	119	94	140	167	136	124	128	155	1554

2 時間別出場表

時間帯	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
件数	46	41	57	89	212	231	212	191	176	119	108	72	1554

3 曜日別出場状況表

曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
件数	235	220	219	222	236	204	218	1554

4. 事故種別出場件数

時間帯別内訳	火災		自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	その他			計
	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	医師	資機材	その他	
0~2								4	1	2	34	5			46
2~4					1			4			31	5			41
4~6					4			15		1	36	1			57
6~8					5			19			64	1			89
8~10					14	4		41		1	124	28			212
10~12					9	5	1	36		3	127	50			231
12~14					16	1	3	38		1	106	47			212
14~16					15	2	4	27	1	2	88	52			191
16~18				1	11	2		23		2	114	23			176
18~20					4			29		1	69	16			119
20~22					3			20			80	5			108
22~24	1							8		1	55	7			72
計	1		1	1	82	14	8	264	2	14	928	240			1554

5 救急出場件数

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	その他				計
											転院	医師	資機材	その他	
0~2							4	1	2	34	5			46	
2~4				1			4			31	5			41	
4~6				4			15		1	36	1			57	
6~8				5			19			64	1			89	
8~10				14	4		41		1	124	28			212	
10~12				9	5	1	36		3	127	50			231	
12~14				16	1	3	38		1	106	47			212	
14~16				15	2	4	27	1	2	88	52			191	
16~18			1	11	2		23		2	114	23			176	
18~20				4			29		1	69	16			119	
20~22				3			20			80	5			108	
22~24	1						8		1	55	7			72	
計	1		1	82	14	8	264	2	14	928	240			1554	

6 搬送人員

	搬送人員											計
	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	その他	
0~2							4	1	2	30	5	42
2~4				1			4			28	5	38
4~6				4			14		1	28	1	48
6~8				5			17			53	1	76
8~10				13	4		37			116	28	198
10~12				9	5	1	34		1	119	49	218
12~14				14	1	3	37			90	46	191
14~16				16	2	4	24		2	82	52	182
16~18				9	2		18		1	109	23	162
18~20				3			21			63	16	103
20~22				2			19			70	5	96
22~24	1						6		1	50	7	65
計	1			76	14	8	235	1	8	838	238	1419

7 年齢別傷病程度別搬送人員

	新生児 生後28日以内	乳幼児 29日～6歳	少年 7歳～17歳	成人 18歳～64歳	老人 65歳以上	計
死亡				3	29	32
重症		1		24	183	208
中等症		4	5	89	494	592
軽症		20	28	152	364	564
その他			1	2	20	23
計		25	34	270	1090	1419

8 事故種別不搬送理由別不搬送件数

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
辞退(到着前)							1			1	1		3
辞退(到着後)				8			18	1	1	45	1		74
拒否										4			4
明らかな死亡			1				1		5	23			30
他車(隊)搬送				1									1
傷病者なし				2			5			9			16
誤報・いたずら							1						1
その他							3			9			12
計			1	11			29	1	6	91	2		141

9 救急隊員の行った応急処置件数

	対象 人員	止血	固定	人工 呼吸	胸骨 圧迫	心肺 蘇生	酸素 吸入	気道 確保	保温	被覆	在宅 療法 継続	除細 動	静脈 路確 保	薬剤 投与	血糖 測定	ブドウ 糖投 与	血圧 測定	聴診 器で 聴診	血中 酸素 飽和	心電 図	その 他
急病	838	2	10	10	7	28	227	33	462	4		1	9	4	17		799	351	805	761	
交通	76	9	51			1	13	2	40	7							74	33	73	47	
負傷	235	34	68	1	1	1	17	1	118	29					2		231	49	230	159	
その他	270	1	8	1	1	1	75	2	167	6		1	1	1			268	61	265	232	1
計	1419	46	137	12	9	31	332	38	787	46		2	10	5	19		1372	494	1373	1199	1

10 覚知別・障害別件数

	出動件数救急件数		取扱人員		内 訳										
	火災	自然	男	女	計	重症		中等症		軽症		死亡		その他	
						男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
119番	435	387	191	196	387	19	29	72	78	89	78	5	7	6	4
携帯	667	597	307	295	602	33	42	103	105	153	143	10	4	8	1
警察															
加入電話	430	409	212	198	410	42	39	111	117	50	41	5		4	
庁内電話															
無線電話	1	1	1		1	1									
駆付報知	18	17	7	10	17	1		1	3	4	7			1	
その他	3	3	2	1	3		1	2							
計	1554	1414	720	699	1419	96	111	289	303	296	269	20	11	19	5

11 事故種別年齢区分別搬送人員

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
新生児													
乳幼児				1			7			17			25
少年				4		7	7			14	2		34
成人	1			28	12	1	29	1	7	157	34		270
老人				43	2		192		1	650	202		1090
計	1			76	14	8	235	1	8	838	238		1419

12 事故種別障害程度別搬送人員

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
死亡				1			1		1	28	1		32
重症	1			10			38		2	89	68		208
中等症				16	5		81		2	338	150		592
軽症				48	9	8	114	1	3	363	18		564
その他				1			1			20	1		23
計	1			76	14	8	235	1	8	838	238		1419

13 現場到着所要時間別出場件数

	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急病	4	9	442	423	50	928
交通		2	41	34	5	82
一般負傷	2	2	124	121	15	264
その他	2	18	180	70	10	280
計	8	31	787	648	80	1554

14 收容所要時間別搬送人員

	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急病		8	134	494	199	3	838
交通		1	8	44	23		76
一般負傷		2	35	136	61	1	235
その他		13	38	160	59		270
計		24	215	834	342	4	1419

15 事故種別医療機関別搬送人員

	急病		交通事故		一般負傷		その他		計		
	うち 管内	うち 管外									
救急医療機関	国立	32			8	31	71	71			
	公立	684	63	17	189	157	1093	191			
	公的	35	2	2	15	33	85	85			
	私的	病院	74	11	11	22	38	145	133		
		診療所	1					1	1		
	計	826	218	30	234	259	1395	481			
	その他機関	国立									
		公立									
		公的									
		私的	病院	5				4	2	9	3
診療所			7			1			8	2	
計		12	3		1	4	2	17	5		
計		国立	32	32		8	31	71	71		
		公立	684	85	63	189	157	1093	191		
		公的	35	35	2	15	33	85	85		
		私的	病院	79	66	11	22	42	154	136	
	診療所		8	3		1		9	3		
	計	838	221	30	235	263	1412	486			
	その他の場所						7	7	7		
	合計		838	221	76	235	270	1419	493		

16 救急法指導実施状況

No	月	日	実施団体	対象者	人員	備考
1	1	15	安芸市役所(防災訓練)	安芸市民	15	
2		17	ファミリーサポート	会員	6	
3	3	29	ボート監視員	市民	2	
4	5	20	下山小学校	教職員	6	
5	6	2	伊尾木小学校	教職員	10	
6		7	川北小学校	教職員	11	
7	7	5	土佐ロイヤルホテル	職員	8	
8		14	矢ノ丸保育園	職員	15	
9		19	穴内小学校	教職員・PTA	7	
10	8	26	アーク溶接特別教育	各事業所職員	8	
11	10	1	防災士育成講座	防災士養成講座受講者	13	
12	11	9	おひさま保育所	保育士	29	
13		19	安芸市税務署	職員	11	
14		30	安芸市最終処分場	職員	8	
15	12	8	ワークチャンス	作業員	6	
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						

一般救命講習	134
普通救命講習	21
上級救命講習	0
計	155

予 防 編

1	防火対象物数	42
2	建築同意事務処理状況	43
3	数量別危険物製造所等の数	44
4	危険物関係事務処理状況	45
5	火災予防条例に基づく各種届出状況	45
6	消防法第9条の3に基づく届出状況	45
7	消防手数料徴収状況(危険物)(煙火消費)	46
8	3年間の火災統計	47
9	3年間の地区別火災統計	47
10	3年間(令和2年・3年・4年)の月別火災件数 及び原因別火災件数調べ	48
11	原因別(内訳)火災状況	49
12	時刻別火災状況	50
13	曜日別火災状況	51
14	覚知別火災状況	51
15	月別火災状況	52
16	月別火災出動状況	52
17	業務別火災発生状況	53

1. 防火対象物数

令和5年3月31日現在

項目	種類	安芸市			芸西村			計	
		1~ 2F	3~ 6F	7F 以上	1~ 2F	3~ 6F	7F 以上		
一	イ	劇場、映画館、観覧場	2	1				3	
	ロ	公会堂、集会場	16	1		4		21	
二	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ	1					1	
	ロ	遊技場、ダンスホール	1					1	
三	イ	待合、料理店類						0	
	ロ	飲食店	9	2		1	1	13	
四		百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場	36	1		6		43	
五	イ	旅館、ホテル、宿泊所	6	3		5		14	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	8	34	1	7	4	54	
六	イ	病院、診療所、助産所	8	7		4	1	20	
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、有料老人ホーム	5	4		2	1	12	
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、保育所	16			4		20	
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校				1		1	
七		小、中、高、大、各種学校	20	18		2	2	42	
八		図書館、博物館、美術館	2	1				3	
十一		神社、寺院、教会の類	4			1		5	
十二	イ	工場、作業場	35	1		6		42	
十三	イ	自動車車庫又は駐車場	2			1		3	
十四		倉庫	6	1		1		8	
十五		前各項に該当しない事業所	44	15		15		74	
十六	イ	複合用途防火対象物のうちその一部が特定用途に供されるもの	12	16	3	7	1	1	40
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	1	2					3
十七		重要文化財、重要有形民族文化財	1					1	
計			235	107	4	67	10	1	424

2. 建築同意事務処理状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
確認申請	安芸	2		1	2		1	3					2	11
	芸西				1			1			1			3
	計	2		1	3		1	4			1		2	14

(1). 月別、築造、同意事務処理状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新築	安芸	1		1	2		1	3					2	10
	芸西				1			1			1			3
増築	安芸	1												1
	芸西													
移転	安芸													
	芸西													
改築	安芸													
	芸西													
その他	安芸													
	芸西													
計	安芸	2		1	2		1	3					2	11
	芸西				1			1			1			3

(2). 月別、構造別、同意事務処理状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
木造	安芸			1	2		1	3					1	8
	芸西										1			1
鉄筋コンクリート	安芸												1	1
	芸西							1						1
鉄骨造	安芸	2												2
	芸西													
コンクリートブロック	安芸													
	芸西													
その他	安芸													
	芸西				1									1
計	安芸	2		1	2		1	3					2	11
	芸西				1			1			1			3

3. 数量別危険物製造所等の数

令和5年 3 月 31 日現在

製造所等の別		数 量 別							合 計
		五倍以下	五倍をこえ十倍以下	十倍をこえ五十倍以下	五十倍をこえ百倍以下	百倍をこえ百五十倍以下	百五十倍をこえ二百倍以下	二百倍をこえ千倍以下	
製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所								
	屋 外 "	2	4						6
	屋内 タンク 貯蔵所								
	屋 外 "	2	2	2	3				9
	地 下 "	12	3	2	1				18
	簡 易 "								
	移 動 "	14		1					15
	小 計	30	9	5	4				48
取 扱 所	一 般 取 扱 所	3	2	4	1				10
	給 油 "		1	9	2	4	1	3	20
	販 売 "								
	小 計	3	3	13	3	4	1	3	30
合 計		33	12	18	7	4	1	3	78

4. 危険物関係事務処理状況

種別	区分	貯蔵所						取扱所				計	
		屋外タンク	移動タンク	屋内タンク	簡易タンク	屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	地下タンク	給油取扱所	第一種販売所	第二種販売所		一般取扱所
設置許可							1					1	2
変更許可							1					1	2
完成検査（設置）													
完成検査（変更）							1					1	2
仮使用							1						1
軽微工事届								7					7
設置者・名称・地名変更届							1						1
譲渡・引渡し届								1					1
保安監督者選解任届					1			1				2	4
危険物貯蔵所品名・数量変更届													
予防規程変更認可申請書								2					2
計					1		5	11				5	22

5. 火災予防条例に基づく各種届出状況

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
火災とまぎらわしい届		3	1	1			5	1	1	1	2		15
少量危険物貯蔵取扱届	1		1		6	9	1	1	2	12		7	40
発電、変電、蓄電設備届	4				1			1			1		7
防火対象物使用開始届	1	1	1			1			1	2			7
煙火打上げ届		1					1						2
露店等の開設届	1		1		1	2	1	1		1			8
道路工事届	22	12	13	12	15	12	9	8	11	10	14	20	158
指定可燃物届													
ボイラー設置届													
温風暖房機設置届			1		5	7							13
計	29	17	18	13	28	31	17	12	15	26	17	27	250

6. 消防法第9条の3に基づく届出状況

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
圧縮アセチレンガス等			1	1	1	2				1			6

7. 消防手数料徴収状況（危険物）

（単位：円）

区分 月別	危 険 物 関 係													
	設置許可		変更許可		設 置 完成検査		変 更 完成検査		完 成 検査前検査		仮使用 仮貯蔵		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
4														
5	1	26,000											1	26,000
6														
7														
8											1	5,400	1	5,400
9			1	33,000			1	16,500	4	24,000			6	73,500
10											1	5,400	1	5,400
11			1	13,000			1	6,500			1	5,400	3	24,900
12														
1														
2	1	39,000											1	39,000
3														
計	2	65,000	2	46,000			2	23,000	4	24,000	3	16,200	13	174,200

消防手数料徴収状況（煙火消費）

（単位：円）

区分 月別	煙 火 消 費 許 可 関 係			
	消 費 許 可		合 計	
	件数	金額	件数	金額
5	1	7,900	2	15,800
10	1	7,900		

8. 3年間の火災統計

区分 年別	火災 件数	火災の種類			焼損面積		焼損棟数				損害額（千円）			死傷者		
		建物 火災	林野 火災	その他の火災 車輜・船舶	建物 (m ²)	林野 (a)	全 焼	半 焼	部分 焼	ボ ヤ	建物 火災	林野 火災	その他の火災 車輜・船舶	合 計	死 者	負 傷 者
2	10	5		5	538			7	3	2	12,450		101	12,551	2	1
3	10	4		6	111			4		1	985			985		
4	7	2		5	3					4	10		1,350	1,360	1	2

※建物焼損面積は、焼損床面積と焼損表面積の合計です。

9. 3年間の地区別火災統計

地区別 年別	赤 野	穴 内	中 央	井 ノ 口	畑 山	安 芸	土 居	東 川	川 北	伊 尾 木	合 計
	2	1	1	2	1		3				2
3			2			1			3	4	10
4	1		3						2	1	7

10. 3年間(令和2年・3年・4年)の
月別火災件数及び原因別火災件数調べ

年 別	火災原因 種別 月別	火 災 種 別						出 火 原 因 別		
		建 物	林 野	船 舶	車 両	そ の 他	計	失 火	放 火	そ の 調 査 他 中 明
2	1 月									
	2 月									
	3 月					1	1	1		
	4 月					1	1	1		
	5 月					1	1			1
	6 月									
	7 月									
	8 月	4				1	5	3		2
	9 月	1					1			1
	10 月									
	11 月					1	1			1
	12 月									
	計		5				5	10	5	
3	1 月	2					2	2		
	2 月					2	2	2		
	3 月									
	4 月	1					1	1		
	5 月									
	6 月									
	7 月	1					1	1		
	8 月									
	9 月				1		1	1		
	10 月					2	2	2		
	11 月									
	12 月					1	1	1		
	計		4			1	5	10	10	
4	1 月					1	1	1		
	2 月					2	2	2		
	3 月									
	4 月									
	5 月					1	1	1		
	6 月									
	7 月									
	8 月									
	9 月	1					1			1
	10 月	1				1	2		2	
	11 月									
	12 月									
	計		2				5	7	4	

11. 原因別（内訳）火災状況

（令和4年）

	件数	比率（%）	損害額（千円）	比率（%）
たばこ	1	14.3	6	0.5
ライター	2	28.4		
焚き火				
放火	2	28.4	1,285	94.5
かまど	1	14.3	63	4.5
線香				
不明				
電気機器	1	14.3	6	0.5
その他				
合計	7	100	1,360	100

損害額別件数

10万未満	6件
10万～100万未満	0件
100万～1,000万未満	1件
1,000万以上	0件

12. 時刻別火災状況

(令和4年)

時刻	月別												計
	1月	2月	3月	4月	8月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
0 ~ 1													
1 ~ 2													
2 ~ 3													
3 ~ 4													
4 ~ 5													
5 ~ 6													
6 ~ 7													
7 ~ 8													
8 ~ 9													
9 ~ 10		1											1
10 ~ 11		1								1			2
11 ~ 12					1								1
12 ~ 13													
13 ~ 14	1												1
14 ~ 15													
15 ~ 16													
16 ~ 17													
17 ~ 18													
18 ~ 19													
19 ~ 20													
20 ~ 21													
21 ~ 22										1			1
22 ~ 23													
23 ~ 24											1		1
不明													
計	1	2			1				1	2			7

13. 曜日別火災状況

(令和4年)

月別	曜日		日	月	火	水	木	金	土	不明	計
	日	月									
1 月	1										1
2 月						1		1			2
3 月											
4 月											
5 月	1										1
6 月											
7 月						1					1
8 月											
9 月									1		1
10 月	1										1
11 月											
12 月											
計	3					2		1	1		7

14. 覚知別火災状況

(令和4年)

覚知別	119			加入		事 間	後 知	駆 込	警 察	無 線	そ の 他	計
	固 定	携 帯	そ の 他	固 定	携 帯							
件数	1	4				2						7

15. 月別火災状況

(令和4年)

区分 月別	件数	罹災世帯	死傷者		焼損面積		損害額 (千円)
			死者	負傷者	建物㎡	林野 ^a	
1月	1						0
2月	2		1				63
3月							
4月							
5月	1			1			6
6月							
7月							
8月							
9月	1	1		1	1		6
10月	2						1,285
11月							
12月							
計	7	1	1	2	1		1,360

焼損面積欄の()内は焼損表面積を記載したもの。

16. 月別火災出動状況

(令和4年)

区分 月別	出動ポンプ台数(内放水台数)			出動人員		
	署	団	計	署	団	計
1月	2(2)	3(1)	5(3)	11	17	28
2月	2(1)	13(0)	15(1)	9	61	70
3月						
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月	2(1)	15(0)	17(1)	9	78	87
10月	4(3)	3(0)	7(3)	14	2	16
11月						
12月						
計	10(7)	34(1)	44(8)	43	158	201

出動ポンプ台数については、出動全ポンプ台数と()内に放水台数を記入。

17. 業態別火災発生状況

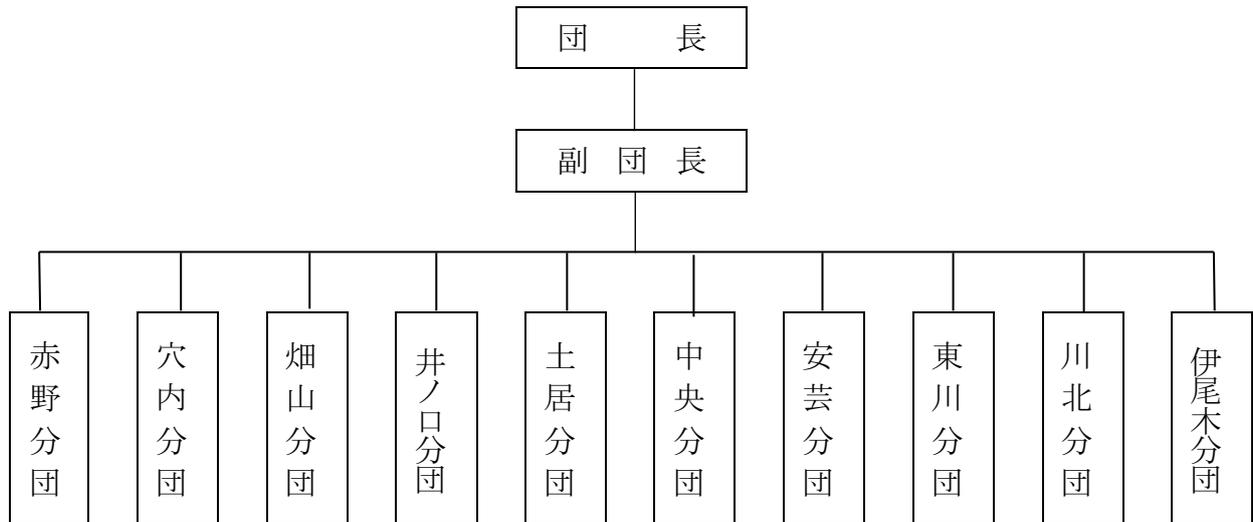
(令和4年)

防火対象物		月 別												計
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
建 物 火 災	住 宅									1	1			2
	倉 庫													
	作 業 場													
	共 同 住 宅													
	そ の 他													
林 野 火 災														
車 両 火 災														
船 舶 火 災														
そ の 他 火 災		1	2			1					1			5
計		1	2			1				1	2			7

消防団編

1	安芸市消防団機構	55
2	消防団定数及び実員数	55
3	消防団在職年数	55
4	年齢別調べ	55
5	消防団編成表	56
6	消防機械車齢別一覧表	56
7	機械器具配置状況	57
8	ポンプ車配置状況	57
9	指揮者、運搬車、防災活動車、小型ポンプ積載車 配置状況	57
10	小型ポンプ配置状況	57
11	消防団幹部名簿	58
12	歴代団長	58
13	年報酬(1人当)	59
14	出動報酬	59
15	手当関係	59
16	安芸市消防団員表彰条例	60

1. 安芸市消防団機構



2. 消防団定員及び実員数

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定員	1	2	10	10	30	41	188	282
実数	1	2	10	10	30	41	146	240

3. 消防団在職年数

項目 区分	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
消防団員	240	50	49	43	33	17	20	28

4. 年齢別調べ

年齢 区分	18歳 ～ 20歳	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～	計
消防団員	1	11	19	23	32	47	40	35	19	13	240

5. 消防団編成表

階 級 団 名	階 級 別 内 訳							計
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	
団 本 部	1	2				1	7	11
伊 尾 木 分 団			1	1	3	4	25	34
川 北 分 団			1	1	3	4	17	26
東 川 分 団			1	1	3	4	10	19
土 居 分 団			1	1	3	4	10	19
井 ノ 口 分 団			1	1	3	4	16	25
畑 山 分 団			1	1	3	4	12	21
安 芸 分 団			1	1	3	4	12	21
中 央 分 団			1	1	3	4	13	22
穴 内 分 団			1	1	3	4	11	20
赤 野 分 団			1	1	3	4	13	22
計	1	2	10	10	30	41	146	240

6. 消防機械車齢別一覧表

車 齢	区 分	ポンプ車	運搬車	積載車	指揮車	防災 活動車	小型ポンプ
1	年 以 内						1
2	〃						2
3	〃	5	2				2
4	〃		2				2
5	〃		2				
6	〃		2			1	
7	〃		2				1
8	〃	1					
9	〃	1					
10	〃	1					
11	〃	1					1
12	〃	1		1			
13	〃						
14	〃				1		
15	年 以 上			4			5
計		10	10	5	1	1	14

7. 機械器具配置状況

車種	ポンプ車	小型動力ポンプ	積載車	運搬車	指揮車	防災活動車	計
台数	10	14	5	10	1	1	41

8. ポンプ車配置状況

分団名	区分	登録番号	車名	出力 (ps)	年式	規格	ポンプ製作所
伊尾木		800さ7079	日野	150	2013	CD-1型	GMいちほら
川北		800さ6724	トヨタ	150	2012	CD-1型	日機
東川		800さ9252	いすゞ	135	1998	CD-1型	吉谷
土居		800さ8174	トヨタ	150	2014	CD-1型	吉谷
井ノ口		800さ9143	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
畑山		800さ9145	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
安芸		800さ6461	トヨタ	150	2011	CD-1型	日機
中央		800さ9144	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
穴内		800さ7678	トヨタ	150	2015	CD-1型	日機
赤野		800さ9141	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ

9. 指揮車、運搬車、防災活動車、小型ポンプ積載車配置状況

分団名	区分	登録番号	車名	年式	用途
伊尾木		800さ8710	トヨタ、ダイナ	2019	運搬車
伊尾木		800さ1036	ニッサン、アトラス	2000	小型積載車
川北		800さ9236	トヨタ、ダイナ	2021	運搬車
川北		800さ2769	ニッサン、アトラス	2002	小型積載車
東川		800さ8948	トヨタ、ダイナ	2020	運搬車
土居		800さ8174	ニッサン、アトラス	2017	運搬車
井ノ口		800さ8173	ニッサン、アトラス	2017	運搬車
畑山		800さ8709	トヨタ、ダイナ	2019	運搬車
安芸		800さ8947	トヨタ、ダイナ	2020	運搬車
中央		800さ8479	トヨタ、エース	2018	運搬車
穴内		800さ8478	トヨタ、エース	2018	運搬車
穴内		800さ2019	ニッサン、アトラス	2001	小型積載車
赤野		800さ3147	ニッサン、アトラス	2002	小型積載車
赤野		800さ9241	トヨタ、ダイナ	2021	運搬車
本部		800さ5788	スバル、レガシー	2009	指揮車
本部		880あ418	ダイハツ、アトレー	2011	軽四積載車
本部		800さ8387	三菱、デリカ	2017	防災活動車

10. 小型ポンプ配置状況

分団名	区分	配置別	ポンプ名	年式	規格	出力
伊尾木		下山	ラビット	2000	B 2	28
川北		江川	ラビット	2002	B 2	28
東川		奈比賀	シバウラ	2019	B 2	32
〃		入河内	シバウラ	2016	C 1	15
〃		丸石	シバウラ	2021	C 1	15
〃		大井	シバウラ	2021	C 1	15
〃		古井	ラビット	2000	C 1	15
畑山		栃ノ木	ラビット	2022	C 1	15
〃		和田	トーハツ	2019	B 2	30
〃		上尾川	シバウラ	2020	B 3	55
井ノ口		内原野	トーハツ	2020	B 3	55
穴内		穴内	ラビット	2001	B 3	50
赤野		赤野	ラビット	2002	B 3	50
本部		本部	トーハツ	2011	B 2	22

1 1. 消防団幹部名簿

階 級	所 属	氏 名
団 長	団 本 部	中 川 洋 文
副 団 長	団 本 部	小 松 貞 仁
副 団 長	団 本 部	西 岡 憲 幸
分 団 長	伊 尾 木 分 団	山 本 正 人
〃	川 北 〃	川 谷 一 隆
〃	東 川 〃	小 松 浩 二
〃	土 居 〃	高 橋 卓 也
〃	井ノ口 〃	西 岡 大 作
〃	畑 山 〃	小 原 忠 明
〃	安 芸 〃	大 野 恵 三
〃	中 央 〃	山 下 正 一 郎
〃	穴 内 〃	前 田 貢
〃	赤 野 〃	尾 木 成 行

1 2. 歴代団長

代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	野 町 紀稔之助	自 昭和29年 8月 1日 至 昭和43年 7月31日	14年
2 代	畑 山 丈 藏	自 昭和43年 8月 1日 至 昭和51年 7月31日	8年
3 代	岡 村 幸 一	自 昭和51年 8月 1日 至 昭和55年 7月31日	4年
4 代	岡 林 重 夫	自 昭和55年 8月 1日 至 昭和63年 7月31日	8年
5 代	吉 永 秀 昭	自 昭和63年 8月 1日 至 平成 8年 7月31日	8年
6 代	五 百 藏 溜	自 平成 8年 8月 1日 至 平成16年 7月31日	8年
7 代	野 町 久 壽 昭	自 平成16年 8月 1日 至 平成30年 7月31日	14年
8 代	安 部 正 治	自 平成30年 8月 1日 至 令和 4年 7月31日	4年
9 代	中 川 洋 文	自 令和 4年 8月 1日 至 現在に至る	

1 3. 年報酬（1人当）

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
82,500 円	69,000 円	50,500 円	45,500 円	37,000 円	37,000 円	36,500 円

1 4. 出動報酬

職務	金額
水火災出動	1 日につき 8,000 円

1 5. 手当関係

費用弁償

職務	金額	
警戒出動、捜索出動、その他の出動	1 日につき 4,000 円(ただし、1 回のサービス時間が 4 時間を超える場合は、超過した時間 1 時間につき 1,000 円を加算して支給する。)	
訓練、研修、会議、その他の消防活動	1 時間につき 1,000 円	
機器整備	ポンプ自動車	1 回につき 430 円
	運搬車	1 回につき 280 円
	付積車	1 回につき 280 円
	小型動力ポンプ	1 回につき 280 円

16. 安芸市消防団員表彰条例

(昭和51年3月24日条例第14号)

第1条 この条例は、消防業務に精励し、その功績が顕著であった消防団員（以下「団員」という。）を表彰することを目的とする。

第2条 表彰基準は次のとおりとする。

(1) 在職年数10年以上で退職した団員

(2) 公務中事故により死亡又は障害（非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令「昭和31年政令第335号」別表第3に定める1級から8級までの等級に該当する身体障害者をいう。）となり退職した団員

2 退職者に授与する金品の額は、前項第1号該当者は別表第1、前項第2号該当者は別表第2に掲げるとおりとする。

第3条 表彰は、表彰状及び金品を授与して行う。

第4条 表彰を受ける者が死亡したときは、表彰状及び金品をその遺族に授与してこれを追彰する。

第5条 在職期間の計算は、団員となった日の属する月から退職した日の属する月までの期間とする。

第6条 この条例の施行に関し、必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この条例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年10月12日条例第20号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成25年3月22日条例第14号）

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

別表第1 金品の額

在職期間	金品の額
10年以上15年未満	40,000円
15年以上20年未満	60,000円
20年以上25年未満	100,000円
25年以上30年未満	150,000円
30年以上35年未満	200,000円
35年以上40年未満	250,000円
40年以上	300,000円

別表第2

種別	在職期間	金品の額
死亡	10年以下	200,000円
	10年以上15年未満	240,000円
	15年以上20年未満	260,000円
	20年以上25年未満	300,000円
	25年以上30年未満	350,000円
	30年以上	400,000円
障害	10年以下	100,000円
	10年以上15年未満	140,000円
	15年以上20年未満	160,000円
	20年以上25年未満	200,000円
	25年以上30年未満	250,000円
	30年以上	300,000円